

平成27年度
第3期行財政経営計画
外部評価報告書

平成28年3月

鈴鹿市

目 次

1	外部評価試行の3年目に当たって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	平成27年度鈴鹿市行財政経営計画検証会議について・・・・	2
	（1）委員構成について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（2）外部評価の実施方法について・・・・・・・・	2
	（3）検証会議の開催について・・・・・・・・	4
	（4）外部評価の視点について・・・・・・・・	6
3	外部評価の結果について・・・・・・・・・・・・・・・・	7
4	3年間の行財政経営計画外部評価を振り返って・・・・	13
	（1）外部評価の進捗状況について・・・・・・・・	13
	（2）これまでの評価を終えて（検証会議からの主な意見）	18
5	平成28年度以降に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6	資料・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	（1）平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果	20
	（2）第3期行財政経営計画体系図	45
	（3）平成27年度外部評価実施単位施策評価シート	51

1 外部評価試行の3年目に当たって

本市では、第5次鈴鹿市総合計画「みんなで築く鈴鹿夢プラン」の基本構想に掲げた将来都市像を実現するため、行政がリーダーシップを持って実施していく施策や単位施策を示す行財政経営計画のより適切な進行管理につなげることを目的に、内部評価結果に対する外部評価を、平成25年度から試行的に実施しています。

昨年度までの外部評価は、鈴鹿市市民委員会規則に基づき、本市の附属機関として設置された鈴鹿市行財政経営計画検証委員会が主体となり、結果を取りまとめていましたが、平成27年度は、上記規則に変わり、鈴鹿市意見聴取等のための会議に関する規程が新たに制定されたことから、本規程に基づく意見聴取のための会議として鈴鹿市行財政経営計画検証会議（以下「検証会議」という。）を設置し、進めてきました。

そのため、本報告書は、検証会議での意見を、本市においてまとめたものです。

これまで、外部評価は、第3期行財政経営計画の単位施策124件の約80%（100単位施策程度）を、平成25年度から4年間で実施することを目標に取り組んできました。

今年度は、過去2年の外部評価の結果から、評価方法の工夫や改善を行い、また、外部評価対象となる単位施策の選定に当たっても、できる限り「政策の柱」、「構想の推進のために」間で、外部評価実施率が平準化されるように努めました。

また、今年度の外部評価は、次期総合計画である鈴鹿市総合計画2023の策定が進められている中での実施であったため、次期総合計画において、行政システムの統合化につながるよう強く意識して取り組みました。

2 平成27年度鈴鹿市行財政経営計画検証会議について

(1) 委員構成について

検証会議は、学識経験者1名と、第3期行財政経営計画の策定に携わった鈴鹿市総合計画審議会委員の中から、「政策の柱」及び「構想の推進のために」を含む6つの分野を考慮して4名の委員を選出し、計5名の構成としました。

(2) 外部評価の実施方法について

外部評価は、検証会議でのヒアリングによる評価（以下「ヒアリング評価」という。）と書面による評価（以下「書面評価」という。）の2通りの方法で実施しました。

また、平成27年度の外部評価は、平成25年度から平成28年度までの4年間で100程度の単位施策について検証することを目標としていることから、昨年度までの2年間で外部評価を実施した49単位施策を除く75単位施策から、目標の100単位施策の4分の1に当たる25単位施策を選定し実施しました。

外部評価の対象とする単位施策は、「政策の柱」及び「構想の推進のために」での外部評価実施率の平準化も考慮し、5名の委員が選定する単位施策の範囲を指定し、検証会議の開催までに、各委員がそれぞれ5単位施策ずつ選定しました。

さらに、各委員が選定した5単位施策のうち、担当課からの聞き取りが必要と考えられる2単位施策を抽出し、計10単位施策を、検証会議でのヒアリング評価を実施し、残りの15単位施策については、書面評価を実施しました。

平成27年度外部評価実施単位施策一覧（25単位施策）

政策の柱		単位施策番号	主担当課名	単位施策名	評価方法
1	人と文化を育むまちづくり	5	児童保育課	生み育てやすい地域社会づくり	書面
		11	教育支援課	学校教育を支える地域社会づくり	書面
		15	教育支援課	教育相談の充実	ヒアリング
		17	スポーツ課	快適に利用できる運動施設の整備・運営	書面
		21	文化課	市民参加型文化事業の推進	ヒアリング
2	環境と共生するまちづくり	26	環境政策課	新エネルギーの導入促進	書面
		28	環境政策課	地球温暖化防止啓発活動の推進	ヒアリング
		30	市街地整備課	緑化施策の推進	書面
		33	下水建設課	公共下水道（汚水）の整備促進	ヒアリング
		34	環境政策課	環境美化及び公衆衛生の向上	書面
3	誰もが暮らしやすいまちづくり	43	産業政策課	勤労者福祉の促進	書面
		49	教育支援課	子どもの人権の保障	ヒアリング
4	いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり	62	都市計画課	美しい街並みや景観の創造と保全	書面
		64	農林水産課	地元農水産物の消費拡大の推進	書面
		70	農林水産課	農林水産業経営支援の促進	ヒアリング
		74	産業政策課	新商品の開発の促進	書面
		80	商業観光課	モータースポーツの振興の促進	ヒアリング
5	安全で安心できるまちづくり	85	河川雨水対策課	都市浸水対策	ヒアリング
		90	地域課	交通安全意識の高揚	書面
		93	道路保全課	市道の維持管理	書面
		95	地域課	防犯意識の高揚	書面
		97	消防課	救急業務高度化の推進	書面
		101	工務課	水道施設の整備・更新	ヒアリング
6	構想の推進のために	116	企画課	総合的・計画的行政の推進	ヒアリング
		117	総務課	民間活力の導入	書面

① ヒアリング評価

外部評価の対象となる25単位施策について、事前に「(4) 外部評価の視点」に基づき、委員から意見を聴取し、これらの意見に対し、各単位施策の担当課から回答を得ました。その内容を委員へ情報提供した上で、ヒアリング評価を実施しました。

ヒアリング評価は、検証会議を開催し、10単位施策について、1単位施策当たり、質疑応答を25分、評価を10分の計35分で実施しました。

ヒアリング評価結果の詳細は、20ページ以降の「平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果」にまとめました。

② 書面評価

書面評価は、ヒアリング評価と同様に、事前に委員から意見を聴取し、各単位施策の担当課から得た回答を委員に情報提供した上で、15単位施策について検証を行い、事務局にて結果を取りまとめました。

書面評価結果の詳細は、ヒアリング評価と同様に20ページ以降の「平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果」にまとめました。

(3) 検証会議の開催について

検証会議は、全4回開催し、第1回から第3回までは、ヒアリング評価を実施する10単位施策について、担当課から聴き取りを行い、検証を行いました。

第4回検証会議では、書面評価を含めた25単位施策の評価結果を取りまとめた「平成27年度第3期行財政経営計画外部評価報告書(案)」について検討し、また、平成28年度以降の検証会議のあり方について検討しました。

計4回の検証会議の開催状況については、次ページに記載しています。

【検証会議の開催状況】

第1回検証会議

開催日 平成27年11月 2日(月) 9:30~11:30
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施(3単位施策)

第2回検証会議

開催日 平成27年11月 4日(水) 14:00~16:30
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施(4単位施策)

第3回検証会議

開催日 平成27年11月12日(木) 18:30~20:30
内 容 ヒアリングによる外部評価の実施(3単位施策)

第4回検証会議

開催日 平成28年 2月10日(水) 13:30~14:45
内 容 平成27年度第3期行財政経営計画外部評価報告書(案)及び
平成28年度以降に向けて

【検証会議の構成員】 ※五十音順(敬称略)

高田短期大学キャリア育成学科 教授
杉浦 礼子(すぎうら れいこ)

鈴鹿市男女共同参画審議会 委員
土川 禮子(つちかわ れいこ)

鈴鹿市青少年育成市民会議
林 佳代子(はやし かよこ)

鈴鹿国際交流協会 理事長
平井 憲章(ひらい のりゆき)

鈴鹿市体育協会 専務理事
山崎 昭(やまざき あきら)

(4) 外部評価の視点について

行政が実施した単位施策評価の実施結果を適切に検証するため、外部評価は、単位施策評価シートの項目に基づき、以下の6つの視点から実施しました。

① 目標値は適切に設定されているか（単位施策評価シート項目5）

成果指標の目標値が、現状や実績からみて、かけ離れていないか、適切か。

② 施策が計画どおり進捗しているか（単位施策評価シート項目5）

第5次鈴鹿市総合計画の最終目標に向かって、単位施策を計画的に推進しているか。

③ 総合評価は妥当であるか（単位施策評価シート項目7）

目標の達成状況や構成する事務事業の取組状況を踏まえて評価しているか。

④ 課題認識は妥当であるか（単位施策評価シート項目8）

市民ニーズや社会情勢など、行政を取り巻く環境の変化や、今後の予測を踏まえて、課題認識が妥当であるか。

⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか（単位施策評価シート項目9）

課題認識を踏まえて、今後の取組の方向性は妥当であるか。

⑥ その他

単位施策の事業内容に関することやコメントなど、上記の項目以外のこと。

評価を実施する際、評価作業の効率化を図るため、評価の参考として以下のとおり5段階の評価基準を置き、検証結果の総括の参考としました。

- A 特に優れている
- B 優れている
- C 概ね適切である
- D 一部改善・検討が必要である。
- E 改善・検討が必要である。

3 外部評価の結果について

外部評価の結果について、ヒアリング評価（10単位施策）、書面評価（15単位施策）共に、単位施策ごとに20ページ以降の「平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果」にまとめました。

次ページ以降に、外部評価による【検証結果の総括】として、外部評価の視点ごとに検証しています。

【検証結果の総括】

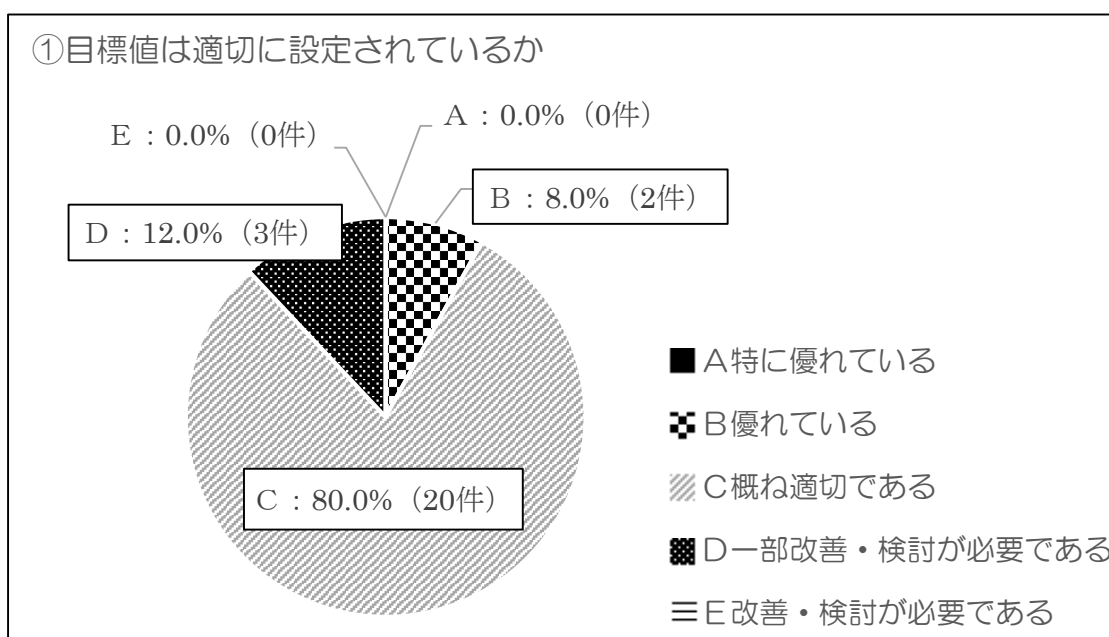
① 目標値は適切に設定されているか

外部評価を実施した全25件中22件（88%）が、5段階評価で「優れている、概ね適切である」という結果でした。

残り3件（12%）については、事業が未実施のため評価できないものや、目標値の設定が低すぎるため適切でない指標があり、5段階評価で「一部改善・検討が必要である」という結果となりました。

その一方で、目標値は適切に設定されているものでも成果指標が、外部団体等の活動結果や成果を設定している等、市が主体的に取り組んで達成することが困難な成果指標もあるとの指摘もありました。

今回の検証会議では、あくまで、設定されている成果指標の目標値が適切かどうかの判断を行っており、成果指標が適切でないと考えられるものについては、次期総合計画で、より適切な成果指標や目標値の設定を検討する必要があると考えます。



5段階評価結果の分布（単位：単位施策数）

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	2	7	1	0
書面評価	0	0	13	2	0

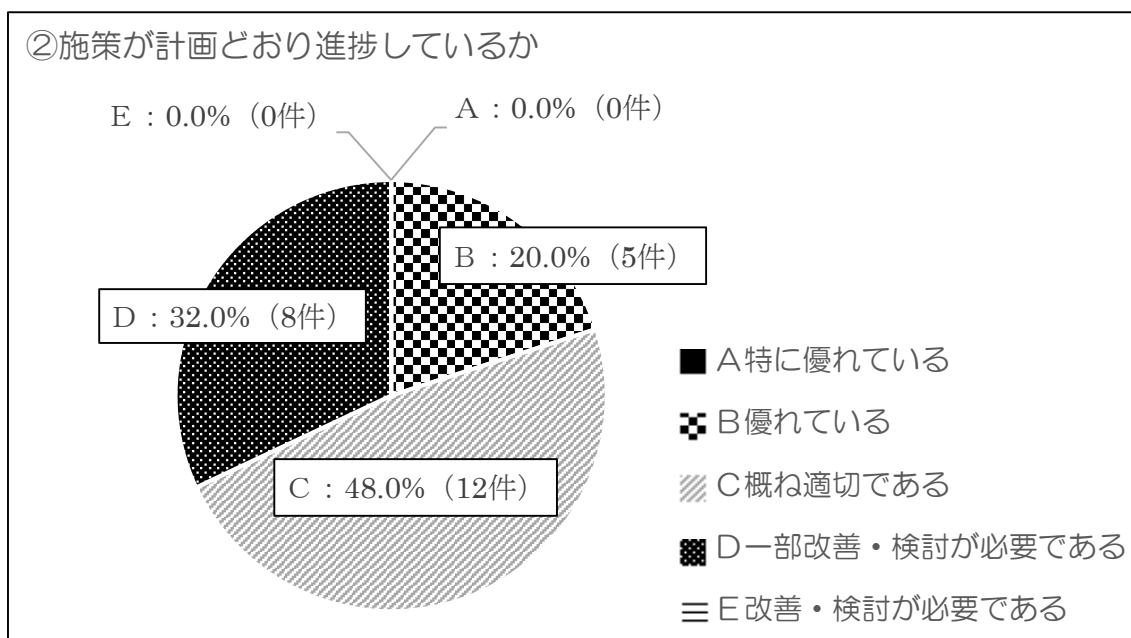
② 施策が計画どおり進捗しているか

外部評価を実施した全25件中17件(68%)が、5段階評価で「優れている、概ね適切である」という結果でした。

一方で、全25件中8件(32%)については、計画どおり進捗しているとは言い難い状況であり、そのほとんどが目標値に対して実績値が下回っているとの指摘があり、「一部改善・検討が必要である」という結果となりました。

また、概ね適切であると評価したものにも、一部、目標値に対して実績値が下回っているものもあるとの指摘もありました。

実績値が下回った単位施策については、結果を分析し、目標値が達成できるよう努める必要があると考えます。



5段階評価結果の分布（単位：単位施策数）

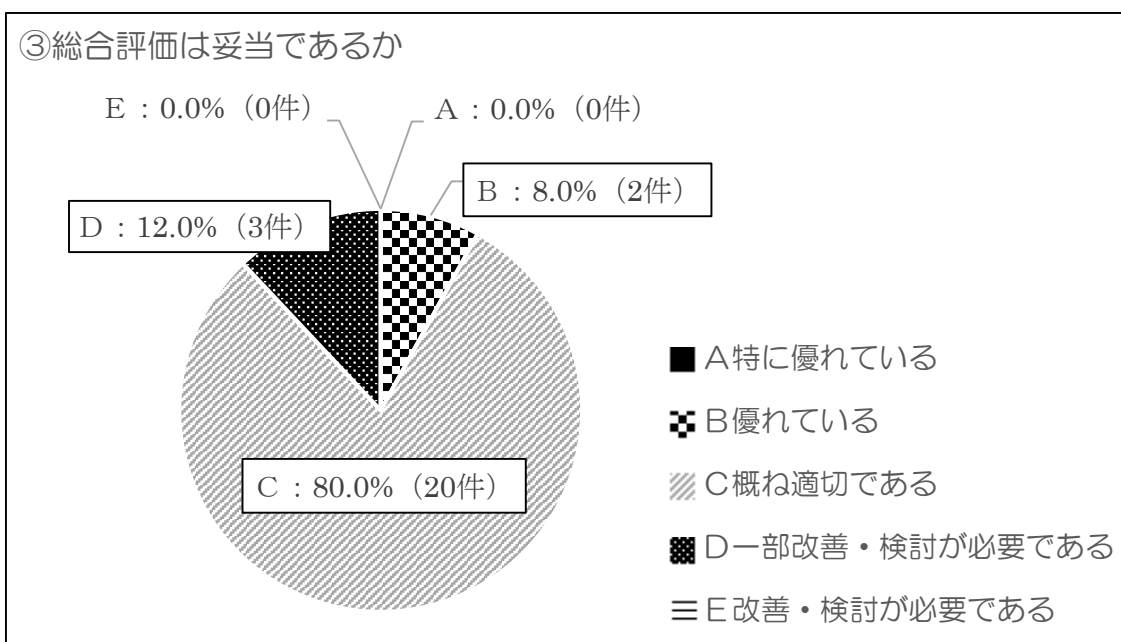
	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	3	2	5	0
書面評価	0	2	10	3	0

③ 総合評価は妥当であるか

外部評価を実施した全25件中22件(88%)が、5段階評価で「優れている、概ね適切である」という結果でした。

残り3件(12%)については、目標値に対して実績値が下回っているにも関わらず、原因を明確にしていないものや、実績値から読み取れる情勢と総合評価が合致していないものがあるとの指摘があり、「一部改善・検討が必要である」という結果となりました。

総合評価を行う際は、目標値に対する実績値を正確に読み取り、結果の分析や検証を行い、また、単位施策全体の総合評価となるよう市としての評価を具体的かつ、明確に行う必要があると考えます。



5段階評価結果の分布（単位：単位施策数）

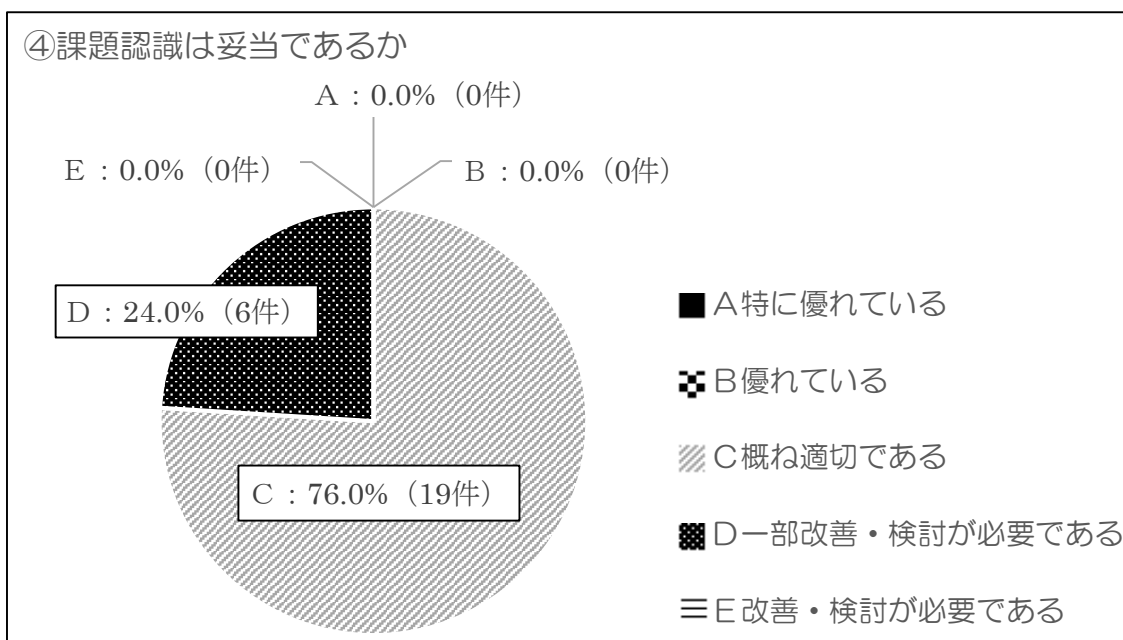
	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	2	6	2	0
書面評価	0	0	14	1	0

④ 課題認識は妥当であるか

外部評価を実施した全25件中19件(76%)が、5段階評価で「概ね適切である」という結果でした。

残り6件(24%)については、課題認識が一部の事務事業に特化されており、単位施策全体の課題となっていないものや、表現として不適切なもの、課題が具体性に欠けるものがあるとの指摘があり、「一部改善・検討が必要である」という結果となりました。

課題認識を行う際は、総合評価の内容を踏まえ、一事務事業の課題ではなく、当該単位施策全体の課題を具体的かつ、明確にする必要があると考えます。



5段階評価結果の分布（単位：単位施策数）

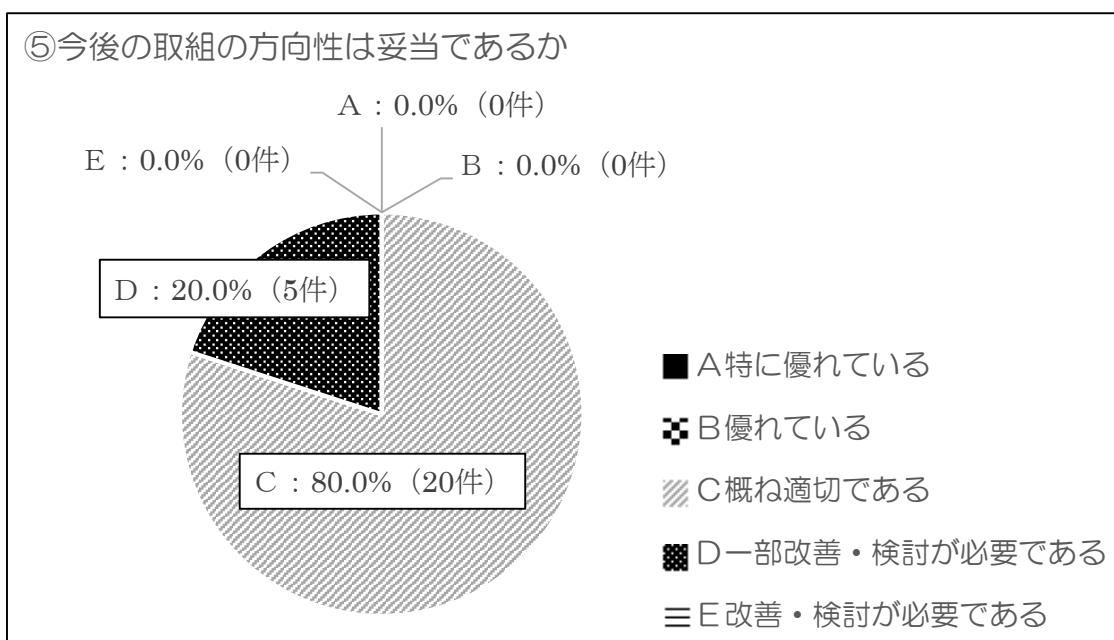
	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	5	5	0
書面評価	0	0	14	1	0

⑤ 今後の取組の方向性

外部評価を実施した全25件中20件（80%）が、5段階評価で「概ね適切である」という結果でした。

残り5件（20%）については、表現として不適切なもの、課題認識が具体性に欠けているため、今後の方向性が明確になっていないものがあるとの指摘があり、「一部改善・検討が必要である」という結果となりました。

今後の取組の方向性は、各单位施策の進捗状況を把握し、総合評価を行い、課題認識を的確に捉え、単位施策の検証を行った上で、単位施策全体について具体的に検討する必要があると考えます。



5段階評価結果の分布（単位：単位施策数）

	A	B	C	D	E
ヒアリング評価	0	0	7	3	0
書面評価	0	0	13	2	0

⑥ その他

外部評価を実施した全25件中16件（64%）の単位施策について、その他として、次のような意見がありました。

- ①単位施策評価シートへの記載について、全体的に記載が明確でないため、市民にわかりやすい記載方法の改善に努める必要がある。
- ②単位施策の事業全体に係る評価を記載する必要がある。
- ③外郭団体の捉え方、市民主体性の捉え方を整理し、取組を推進する必要がある。

個々の単位施策のその他意見の詳細については、20ページ以降の「平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果」に記載しています。

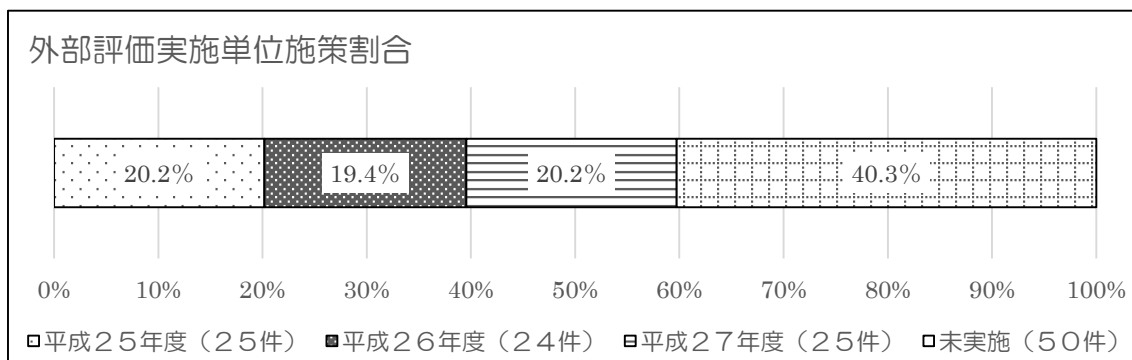
4 3年間の行財政経営計画外部評価を振り返って

(1) 外部評価の進捗状況について

① 外部評価実施単位施策数について

評価対象となる単位施策は124件あり、このうち、平成25年度から平成28年度の試行期間である4年間で、100単位施策程度を目標として、3年間で74単位施策、評価方法別では、ヒアリング評価が25単位施策、書面評価が49単位施策を検証しました。

単位施策全体では、124単位施策のうち約60%が外部評価を完了しており、3年間では目標の100単位施策のうち74%が完了しています。



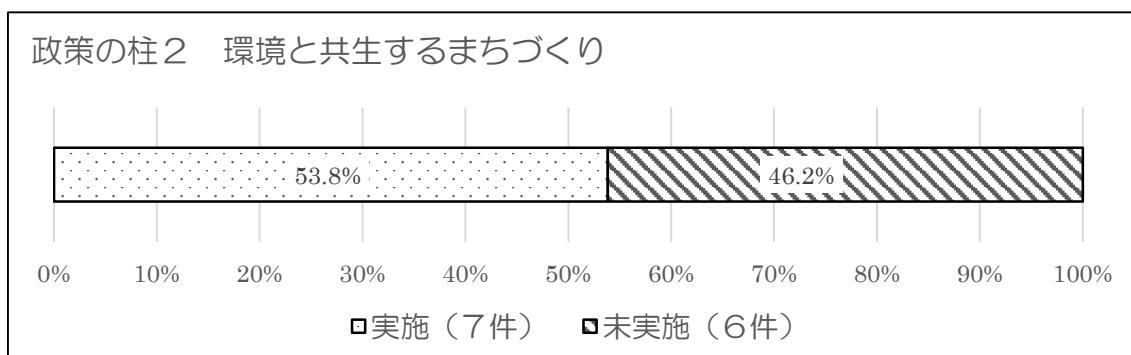
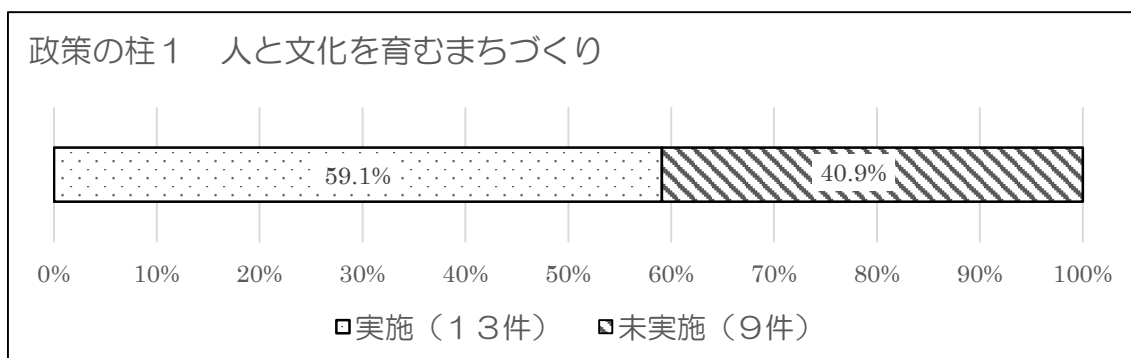
② 「政策の柱」及び「構想の推進のために」別評価実績について

平成26年度までの2年間で49単位施策について、単位施策の評価が適切でないと考えられるものや、適切に進捗していないと考えられるものを中心に選定し、外部評価を実施してきた結果、「政策の柱」「構想の推進のために」別で実施率にばらつきがありました。

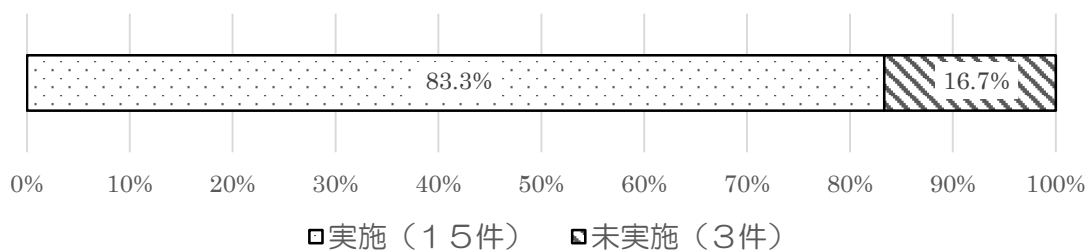
今回、外部評価を実施するに当たっては、特に政策の柱2「環境と共生するまちづくり」及び政策の柱4「いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり」の実施率が低かったこともあり、新たに実施率のばらつきが平準化されるような視点を加えて、委員ごとに外部評価を選定する単位施策の範囲を指定しました。

昨年度は、最高で72.2%、最低で15.4%と実施率に56.8ポイントの大きな差がありましたが、今年度は、最高で83.3%、最低で、44.4%と38.9ポイントの差まで縮めることができました。

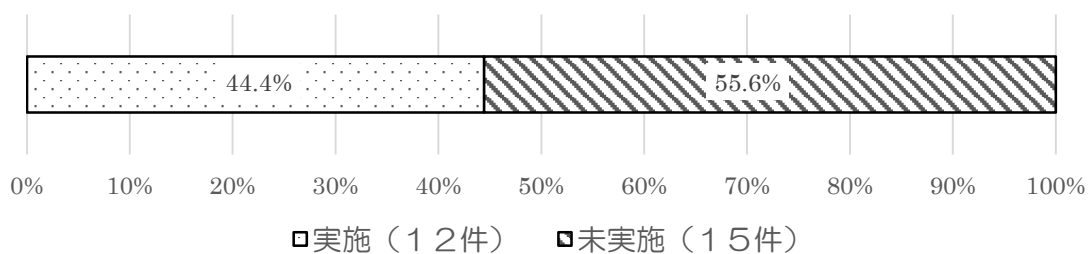
【「政策の柱」及び「構想の推進のために」別の実施率】



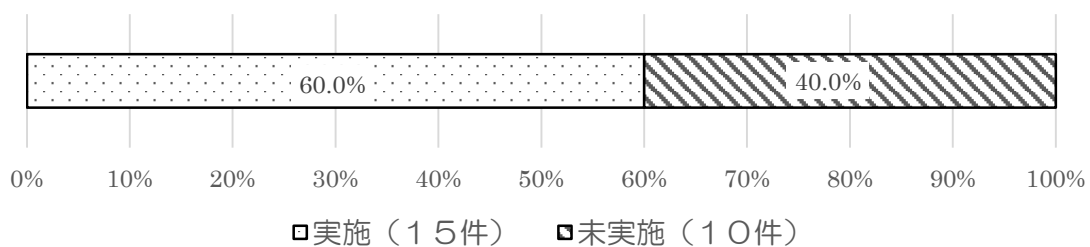
政策の柱3 誰もが暮らしやすいまちづくり



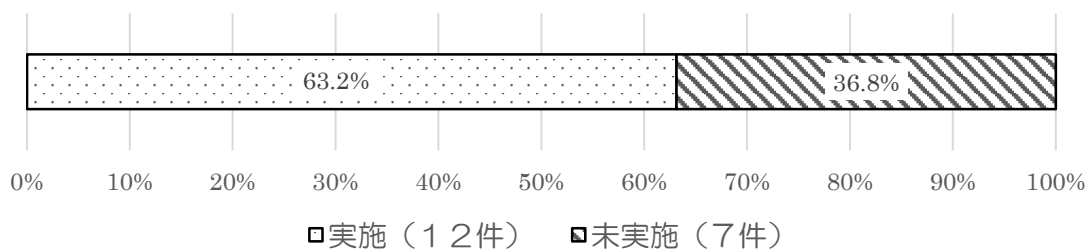
政策の柱4 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり



政策の柱5 安全で安心できるまちづくり



構想の推進のために

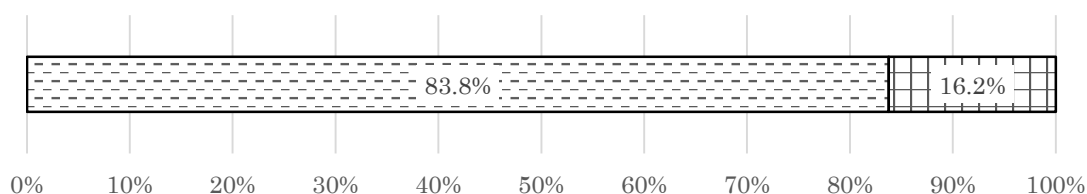


③ 外部評価の視点別評価実績について

外部評価の視点別評価は、平成25年度以降、3年間で外部評価を実施した74単位施策について、評価結果を「適切であるもの」と「そうでないもの」に大きく2つに分類し、集計した結果をまとめました。

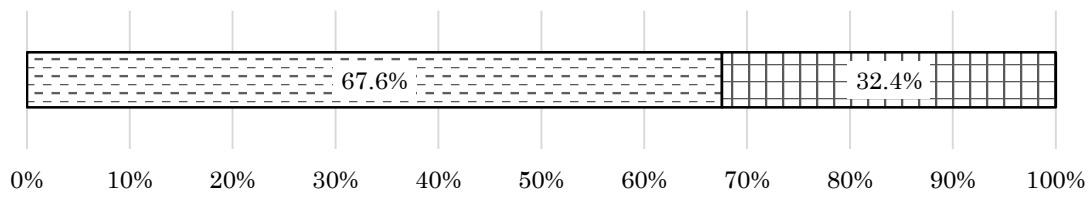
- 平成25年度は、5段階評価を実施していませんが、外部評価の結果についての総括で、「適切に設定されている、概ね適切に設定されている」、「計画通り、概ね計画どおり」、「妥当である、概ね妥当である」となった件数を「適切であるもの」と集計しています。同様に、「一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である」となった件数を「そうでないもの」と集計しています。
- 平成26年度及び平成27年度は、5段階評価を基本とし、外部評価の結果についての総括で「特に優れている、優れている、概ね適切である」となっている件数を「適切に設定されている、概ね適切に設定されている」、「計画通り、概ね計画どおり」、「妥当である、概ね妥当である」と集計し、「適切であるもの」としています。同様に、「一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である」となった件数を「そうでないもの」と集計しています。

①目標値は適切に設定されているか



- 適切に設定されている、概ね適切に設定されている（62件）
- 一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である（12件）

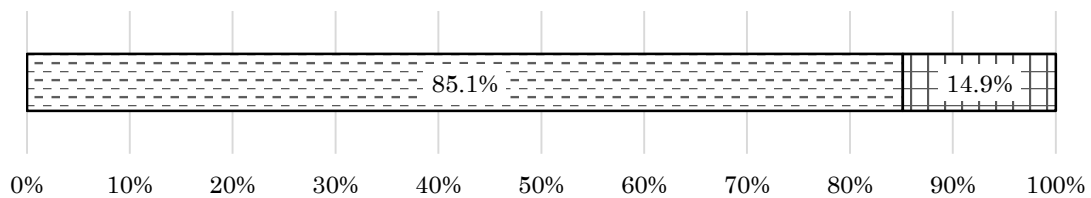
②施策が計画どおり進捗しているか



□計画どおり、概ね計画どおり（50件）

▣一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である（24件）

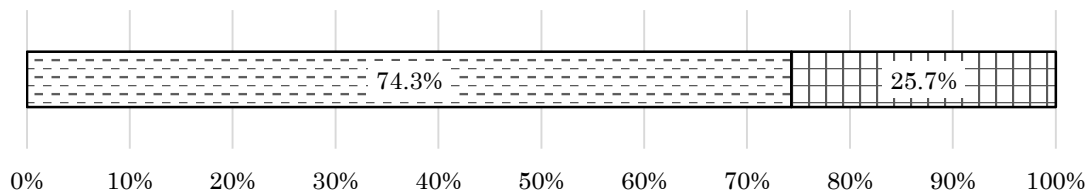
③総合評価は妥当であるか



□妥当である、概ね妥当である（63件）

▣一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である（11件）

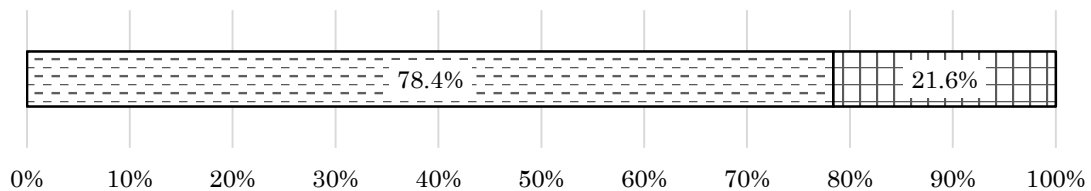
④課題認識は妥当であるか



□妥当である、概ね妥当である（55件）

▣一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である（19件）

⑤今後の取組の方向性は妥当であるか



□妥当である、概ね妥当である（58件）

▣一部改善・検討が必要である、改善・検討が必要である（16件）

(2) これまでの評価を終えて（検証会議からの主な意見）

- 単位施策評価シートを記載する際には、市民にも分かりやすく記載するよう努めること。
- 単位施策評価シートの課題認識、今後の方向性は、事業の実績や総合評価の内容を踏まえた上で、具体的に記載するよう努めること。
- 単位施策の成果指標が、外部団体の活動結果によるものが多いが、次期総合計画では、市が主体となって行う事業やイベントの成果を指標に設定するよう努めること。
- 外部評価を実施した単位施策以外にも外部評価の意見が反映されるよう組織内の情報共有に努めること。
- 成果指標の目標値が、必要に応じて変更できると、外部評価がしやすいので、鈴鹿市総合計画2023では、目標値が見直しできる仕組みを考えること。
- ヒアリング評価については、対象となった施策の評価に限定することなく、担当課との意見交換の場として、新たな気づきも生まれ、意義あるものであったこと。
- 外部評価によるチェック機能は、目標実現に向けての適切な進行管理の検証として必要であること。
- 外部評価の導入効果は高く、単位施策の方向性や予算が連動したPDCAサイクルが機能し、トータルマネジメントシステムの構築が必要であること。
- 市職員は、行政評価の意義についてしっかりと理解すること。

5 平成28年度以降に向けて

これまで試行してきた外部評価は、取組の手法等を毎年見直し、計画の適切な進行管理と市民への説明責任の向上を図るためのツールとなり、行政評価の仕組みの一つとしてその手法等を構築することができました。

また、今回の外部評価は、次期総合計画である鈴鹿市総合計画2023の策定と並行して実施しましたが、総合計画2023の策定に当たっては、これまで試行してきた外部評価の結果を下に、指標設定等に取り組み、職員の意識付けにも有効であったと考えます。

このことから、平成28年度は、総合計画2023がスタートしており、これまで取り組んできた外部評価の実績を生かす環境も整ってきているものと考え、

第3期行財政経営計画の外部評価は実施せず、外部評価の視点等を継承して内部での2次的な評価を実施することと併せ、第3期行財政経営計画の4年間の総括を行います。

現在、総合計画2023と予算が連動し、また、人事評価や行財政改革など様々な取組が同じ方向を目指して行政を運営していくためのトータルマネジメントシステム*の確立に向けて検討しているところです。

また、平成28年度の組織機構改革においては、行政経営を主体的に担っていく行政経営課も設置されることとなっています。

今後、総合計画2023における行政評価の手法については、行政経営課が中心となって、トータルマネジメントシステムを構築する中で確立し、外部評価についても、内部評価に留まらず適切に実施していくことが必要であることから、トータルマネジメントシステムの確立と併せて実施方法等を検討していきます。

* トータルマネジメントシステム：総合計画と予算、行政評価、人事評価、行財政改革等の様々な行政の取組が、独立して機能するのではなく、それぞれが連携して、同じ方向を目指し、行政経営を効率的に推進していくためのシステムのこと。

6 資料

(1) 平成27年度 行財政経営計画検証会議 評価結果

単位施策コード	5	単位施策名	生み育てやすい地域社会づくり		
主担当所属名	児童保育課		評価方法	書面評価	
関係所属名	子ども家庭支援課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 目標値を設定される際は、実績値を踏まえ、より適切な数値とするように努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、総合評価であるため、どのような取組を行って、どのような結果であったか具体的に表現するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、現状分析から課題認識まで、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、子ども・子育て支援事業計画との関連性など、明確に表現するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	11	単位施策名	学校教育を支える地域社会づくり		
主担当所属名	教育支援課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 総合評価の内容を踏まえ、課題として記述するよう努めてください。 また、事務事業評価シートの課題とも整合性が取れるよう、構成する事務事業も踏まえた上で評価するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 単位施策の目的を適切に踏まえたうえで、鈴鹿市の課題を把握し、今後の方向性を検討するよう努めてください。
【6】 その他	全体的に記載が明確でないことから、鈴鹿市の現状が分かりにくくなっています。 市民が評価シートを見て、理解ができるような記載に努めてください。

単位施策コード	15	単位施策名	教育相談の充実		
主担当所属名	教育支援課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	子ども家庭支援課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 最終目標値を全国平均及び県平均よりも高い数値としていることは適切であると考えますが、不登校児童生徒「0」が望ましいことを念頭に置き推進してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言えない状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、内容が成果指標である「不登校」に特化されています。 総合評価として、単位施策の実施内容及び実施結果を踏まえたうえで、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 総合評価と同様、内容が「不登校」に特化されており、環境変化を的確に踏まえたうえで課題を洗い出すよう努めてください。 また、組織改編を行い相談体制を一本化したのであれば、この背景も踏まえ表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね適切であると判断します。
【6】 その他	教育相談の全体件数や、相談の内訳等を明確にし、その推移を示すことで適切な課題分析につながるため、今後は単位施策全体の数値を表すよう努めてください。

単位施策コード	17	単位施策名	快適に利用できる運動施設の整備・運営		
主担当所属名	スポーツ課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、市として具体的に取り組んだ内容と結果について表現するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、運動施設の利用者の減少は施設の老朽化だけでなく、他にも理由がある可能性がありますので、総合評価を明確にし、適切に課題を把握するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね適切であると判断します。
【6】 その他	全体的に記載が明確でないことから、鈴鹿市の現状が分かりにくくなっています。 市民が評価シートを見て、理解ができるような記載に努めてください。

単位施策コード	21	単位施策名	市民参加型文化事業の推進		
主担当所属名	文化課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体性に欠ける表現が見受けられますので、明確に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 「経営状況の健全性が確保できているのか確認が必要である」という表現がありますが、誤解を招く表現であり、不適切です。 鈴鹿市が文化振興事業団の理事であるならば、説明責任を果たす役割もありますので、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 「積極的指導」という表現がありますが、鈴鹿市と文化振興事業団は協働の関係であることから、不適切です。 鈴鹿市まちづくり基本条例や鈴鹿市協働推進指針に沿って整理をし、明確に表現するよう努めてください。
【6】 その他	外郭団体の捉え方、市民主体性の捉え方を整理し、取組を推進するよう努めてください。

単位施策コード	26	単位施策名	新エネルギーの導入促進		
主担当所属名	環境政策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	未実施であるため、評価ができる状態でないと判断します。 ただし、過去の実績と最終目標値を見ると累計ではなく単年度で実績を算出しているようですが、累計で算出するか若しくは目標値を毎年増加させる方法でないと適切に成果が把握できません。 総合計画2023ではより適切な成果指標及び目標値が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	未実施であるため、施策の達成度を評価できる状態でないと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 毎年同等の実績であるにも関わらず、環境に対する意識が高まっていると判断したことに疑問を感じます。 高い実績値から、数値が落ち着いてきたのであれば意識が高まったと判断できると考えますが、毎年同等の実績が続いている状態から、意識が高まっているとは判断できないと考えます。 実績値等と合致する内容となるよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 国の動向を注視することは大切なことですが、鈴鹿市の課題を把握、分析し独自の取組が必要であると考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 再生可能エネルギーの導入促進の目標を明確にしたうえで、課題を洗い出し、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	補助等の資金面での取組だけでなく、鈴鹿市の状況を踏まえ、独自の取組を実施するよう努めてください。 また、手段が目的とならないよう努めてください。

単位施策コード	28	単位施策名	地球温暖化防止啓発活動の推進		
主担当所属名	環境政策課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識が具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題を把握、分析し今後の具体的な取組みの方向性を検討してください。
【6】 その他	計画以上の進捗ではありますが、さらなる発展のために、様々な切り口から新しい取組を検討するよう努めてください。 また、成果指標についてですが、第3期行財政経営計画を開始した平成24年度から最終目標値を達成していることや、構成事務事業「地球温暖化防止啓発事業」については、毎年同じ目標値が設定されており、かつ毎年目標値を達成していることから、より適切な目標値が設定されるよう精査してください。

単位施策コード	30	単位施策名	緑化施策の推進		
主担当所属名	市街地整備課		評価方法	書面評価	
関係所属名	道路保全課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、施策を適切に推進するために設定根拠が明確になるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対し実績が下回っていますが、概ね適切であると判断します。毎年着実に実績値が増加していることは評価に値すると思います。引き続き、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、緑に対する関心度が高いことから、満足度が低くなるという評価に違和感を感じます。 アンケート結果を分析し、その内容を総合評価として詳細に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 総合評価に記述のとおりアンケート結果を分析し、表記することによって、新たな課題が見えてくると考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 引き続き、緑化施策の推進に努めてください。
【6】 その他	鈴鹿市だけで取り組む事業だけでなく、今後は市民と一緒に取り組むような事業も検討してください。 また、この単位施策を構成する事務事業評価シートの成果指標に「予算活用率」が設定されていますが、これは予算の執行状況を示すものであり、成果ではないと考えますので、適切な指標設定に努めてください。

単位施策コード	33	単位施策名	公共下水道(汚水)の整備		
主担当所属名	下水建設課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	下水総務課	下水維持課			

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、記載内容が「財源確保」に特化されているため、単位施策の実施内容及び実施結果を踏まえたうえでの、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	34	単位施策名	環境美化及び公衆衛生の向上		
主担当所属名	環境政策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	苦情処理件数の減少を目標としており、目標に反し、実績値は増加しているが、概ね適切であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	単位施策を構成する事務事業が多岐にわたっていることから、成果が図りにくいのではないかと考えます。 総合計画2023では、適切な体系づくりに努めてください。

単位施策コード	43	単位施策名	勤労者福祉の促進	
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 「今後もこの事業を継続して実施していく」との表現がありますが、主体は勤労者連絡協議会であり、鈴鹿市ではありません。 市が主体となって実施する事業の検討に努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、現状分析を通して明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	49	単位施策名	子どもの人権の保障		
主担当所属名	教育支援課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	一部改善・検討が必要であると判断します。 担当課としても、ニーズや環境変化への対応が遅れたと分析していることから、分析結果を踏まえ、今後は適切な目標値設定に努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 目標値に対して実績値が大幅に下回っているにも関わらず、至らなかった原因が明確にされていません。 原因を明確にすることで評価も適切になることから、今後は明確にするよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題認識が具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題を把握、分析し今後の具体的な取組の方向性を検討してください。
【6】 その他	教職員の人権教育に対する資質向上に引き続き努めてください。

単位施策コード	62	単位施策名	美しい街並みや景観の創造と保全		
主担当所属名	都市計画課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、平成26年度から色彩基準について推奨色への協力を求めたことですが、この取組によって、良好な景観が創造・保全されていることにどう影響したのか、取り組んだ内容と結果を具体的に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、空き家が発生する原因を分析し、課題を洗い出してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、より具体的に表現するよう努めてください。
【6】 その他	目標値の設定が「指導・誘導した割合」を減らすこととしていますが、「指導・誘導をしなかった割合」を増やすこととした方が前向きに捉えられ、やりがいや励みになるのではないかと考えます。

単位施策コード	64	単位施策名	地元農水産物の消費拡大の推進		
主担当所属名	農林水産課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね適切であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、生産物の安定した供給に関して、消費者や生産者の意見を把握し取り組むよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、目標値を達成することや、課題解決のための取組みを検討し、方向性として記載してください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	70	単位施策名	農林水産業経営支援の促進		
主担当所属名	農林水産課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 総合計画2023では新たな指標の設定を検討しているとのことですが、より適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題認識が具体性に欠けるため、明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題を明確にすることにより、今後の方向性も明確になるため、鈴鹿市の課題を把握、分析し今後の方向性を検討してください。
【6】 その他	経営体への補助や助成等の資金面での取組だけでなく、鈴鹿市の状況を踏まえ、市が主体となる取組を設定するよう努めてください。

単位施策コード	74	単位施策名	新商品の開発の促進		
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、市が主体的に取り組んで達成するような指標や目標値設定が望ましいと考えます。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、担当課としてどのような役割を果たしているか具体的に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 「事業者の事業拡大意識が向上する必要がある」という表現がありますが、行政が考える内容と事業者が考える内容に乖離がないか確認したうえで、取り組む必要があると考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	新商品は全て食品関係ですので、違う分野についても新商品が開発されるよう期待しています。

単位施策コード	80	単位施策名	モータースポーツの振興の促進		
主担当所属名	商業観光課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 総合計画2023では新たな指標の設定を検討しているとのことですが、より適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 目標値に対して実績値が大幅に下回っているにも関わらず、至らなかった原因が明確にされていません。 原因を明確にすることにより評価も適切になることから、今後は明確にするよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね適切であると判断します。 市内企業がエンジンサプライヤーとしてF1レースに復帰したことをきっかけに、一層の普及啓発促進に繋げるという趣旨の表現がありますが、良い機会ですので、ぜひ力を入れて取り組んでください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね適切であると判断します。 単位施策の名称でもある「モータースポーツの振興」を基本に、交通安全教育等のほかのメリットも巻き込みながら更に発展するよう努めてください。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	85	単位施策名	都市浸水対策	
主担当所属名	河川雨水対策課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。 総合計画2023では新たな指標の設定を検討しているとのことですが、より適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対し実績が下回っていますが、概ね適切であると判断します。 用地取得等の外部要因を考慮するとやむを得ないと考えます。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 表記上では、現実と担当課の認識に乖離を感じます。 また、「懸念」という表現がありますが、不安や気掛かりという意味ですので、安全対策を行う単位施策には不適切な表現であり、市民は不安を抱くと考えます。 浸水被害が起こることを前提に、浸水対策を推進するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	一部改善・検討が必要であると判断します。 課題を明確にすることにより、今後の方向性も明確になるため、課題を把握、分析し今後の方向性を検討してください。
【6】 その他	全体的に記載が明確ではありません。 市民が評価シートを見て、理解ができるような記載に努めてください。

単位施策コード	90	単位施策名	交通安全意識の高揚		
主担当所属名	地域課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 総合計画2023では新たな指標の設定を検討しているとのことですが、より適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。 ただし、指標が「交通事故死傷者数」であるため、決して良いとは判断していません。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。 ただし、取り組んだ内容と結果を具体的に記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識に記載の前段は総合評価において記載すべき内容となることから、今後は整理し、明確に記載するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	93	単位施策名	市道の維持管理		
主担当所属名	道路保全課		評価方法	書面評価	
関係所属名	土木総務課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	一部改善・検討が必要であると判断します。 「舗装の陥没等に起因する事故件数」という指標に対し、最終目標値が「0」とあるという考え方は理解できますが、毎年目標値がわずかな数字であり、指標として適切でないと考えます。 総合計画2023ではより適切な指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。 ただし、道路の陥没について特化した内容であるため、他の起因についても踏まえ、記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 今後も引き続き、他の団体等と連携し事故の未然防止に努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	95	単位施策名	防犯意識の高揚		
主担当所属名	地域課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、指標である、「犯罪認知件数」は県内ワースト1であり、目標値は現実に即したものではありません。 総合計画2023ではより適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 今後も関係機関等と連携し、取り組んでください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

単位施策コード	97	単位施策名	救急業務高度化の推進		
主担当所属名	消防課		評価方法	書面評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 引き続き、下回っている結果を分析し、目標値が達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 今後も、救急車の到着時間が短縮されるよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、具体的に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、救急車の到着時間の短縮だけでなく、適切な受入体制など、別の視点からの検討もしてください。
【6】 その他	救急車の不適正利用が全国的な問題となっていますが、これは人命に関わることですので、更に力をいれて啓発に取り組んでください。

単位施策コード	101	単位施策名	水道施設の整備・更新		
主担当所属名	工務課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名					

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 総合計画2023では新たな指標の設定を検討しているとのことですが、より適切な成果指標が設定されるよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 更新計画に基づき整備を行うということですが、更新計画自体が適切であるか疑問があります。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、目標達成に向けての記述が必要です。 総合評価や課題認識を踏まえたうえで、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	全体的に記載が明確ではありません。 市民が評価シートを見て、理解ができるような記載に努めてください。

単位施策コード	116	単位施策名	総合的・計画的行政の推進		
主担当所属名	企画課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	総務課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 また、成果指標が「単位施策評価の目標値に対する実績値」であり、成否で判断するため厳しい数値となっていますが、目標値に近づけるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、市役所の内部に対し、担当課として働きかけを行う際の課題を明確に表現するよう努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、行政評価の有意義な活用についても示してほしいと考えます。
【6】 その他	職員に対し、行政評価の意義を理解してもらうよう努めてください。 また、行政評価の「やらされ感」の解消にも努めてください。

単位施策コード	117	単位施策名	民間活力の導入		
主担当所属名	総務課		評価方法	書面評価	
関係所属名	企画課				

評価項目	検証会議 意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対し実績値が下回っていますが、概ね適切であると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、平成25年度実績の91%に対し、平成26年度は97%と大幅に上昇していますが、上昇した理由についても表現するよう努めてください。 今後は、どのような取組を行って、どのような結果であったか具体的に表現するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、民間に全て任せるのではなく、適切にモニタリングを実施するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	特にありません。

(2) 第3期行財政経営計画体系図

■第1章 人と文化を育むまちづくり

政 策（主要テーマ）	施 策	単 位 施 策	担 当 課 名
1 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります	1 生涯学習の推進	1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成活動の支援	生涯学習課
		2 地域における学習活動の推進	生涯学習課
	2 学びの場の充実	3 図書館サービスの充実	図書館
		4 高等教育機関との連携	企画課
	3 子どもを育てやすい環境づくり	5 生み育てやすい地域社会づくり	児童保育課 子ども家庭支援課
		6 子育て家庭への支援	児童保育課 福祉総務課 子ども家庭支援課
		7 保育環境の充実	児童保育課
	4 子どもの教育の充実	8 子どもの教育環境の充実	教育総務課
		9 就学前教育の充実	学校教育課 教育総務課
		10 学校教育の充実	学校教育課 教育支援課 教育総務課
		11 学校教育を支える地域社会づくり	教育支援課
		12 確かな学力づくり	教育指導課
		13 人権教育の推進	教育支援課 教育指導課
		14 学校教育の支援・研究	教育指導課 子ども家庭支援課
		15 教育相談の充実	教育支援課 子ども家庭支援課
	5 生涯スポーツの推進	16 市民参加型スポーツの推進	スポーツ課
		17 快適に利用できる運動施設の整備・運営	スポーツ課
	6 みんなでまもり、育てる青少年の健全育成	18 子どもの安全安心ネットワークの充実	教育支援課
		19 青少年の健全育成	教育支援課
	2 魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます	7 文化財の保護・保存・継承・活用	20 文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進
21 市民参加型文化事業の推進			文化課
8 文化活動の促進		22 文化的施設の整備・運営	文化課

■第2章 環境と共生するまちづくり

政 策（主要テーマ）		施 策	単 位 施 策		担 当 課 名	
3	環境への負荷の少ない循環型社会を進めます	9	ごみの減量活動の推進	23	リサイクル施策の推進と資源化の促進	廃棄物対策課 土木総務課 市街地整備課 建築指導課
				24	廃棄物の適正処理による健全な環境の確保	廃棄物対策課 開発整備課 清掃センター クリーンセンター
				25	循環型社会に向けた基盤整備	開発整備課
4	自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します	10	地球温暖化防止活動の推進	26	新エネルギーの導入促進	環境政策課
				27	地球温暖化対策実行計画の推進	環境政策課 建築指導課
				28	地球温暖化防止啓発活動の推進	環境政策課
		11	緑豊かな自然と共生したま りづくり	29	自然環境の保全	環境政策課
				30	緑化施策の推進	市街地整備課 道路保全課
		12	生活排水対策の推進	31	農業集落排水の整備	下水建設課 下水維持課
				32	合併処理浄化槽の設置促進	環境政策課
				33	公共下水道（汚水）の整備	下水建設課 下水総務課 下水維持課
		13	良好な生活環境の確保	34	環境美化及び公衆衛生の向上	環境政策課
				35	生活環境を守る取組	環境政策課

■第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり

政 策（主要テーマ）		施 策	単 位 施 策	担 当 課 名		
5	みんなで支えあう福祉のまちをつくります	14 福祉サービスの充実	36 障がい者福祉の推進	障害福祉課 建築指導課		
			37 生活保障の確保	保護課 福祉総務課 保健年金課		
			38 高齢者福祉の推進	長寿社会課		
			39 介護保険の推進	長寿社会課		
			40 住生活基本計画の推進	住宅課		
			41 地域福祉活動の推進	福祉総務課		
		15 労働環境の充実	42 働く場の確保と就労支援	産業政策課		
			43 勤労者福祉の促進	産業政策課		
		6	いつも健康で暮らせるまちにします	16 健康づくりの推進	44 健康づくりの啓発の推進	健康づくり課
					45 健康診査の推進	健康づくり課 保険年金課
17 医療体制・制度の充実	46 国民健康保険の適正な執行			保険年金課		
	47 医療費助成による生活の安定			保険年金課		
	48 医療体制の充実			健康づくり課		
	49 子どもの人権の保障			教育支援課		
7	一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします	18 平等で平和な社会の実現	50 人権・平和意識の高揚	人権政策課		
			51 人権啓発・福祉・交流の総合的な取り組みの推進	人権政策課		
			19 共生社会の実現	52 外国人市民との地域共生と異文化理解の推進	市民対話課	
		20 男女共同参画社会の実現	53 男女共同参画の総合的な取組の推進	男女共同参画課 子ども家庭支援課		

■第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり

政 策（主要テーマ）		施 策	単 位 施 策	担 当 課 名
8	人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります	21	54 幹線道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 市街地整備課
			55 公共交通の利便性向上	商業観光課
			56 国・県の道路事業促進	土木総務課 道路用地課
		22	57 中心市街地と商業の活性化	商業観光課
		23	58 ユビキタスネット社会への対応	市政情報課
9	地域の個性と暮らしの利便性を高めます	24	59 良好な住環境の創造・保全	市街地整備課 建築指導課
			60 住居表示の推進	地域課
			61 地籍調査の推進	土木総務課
		25	62 美しい街並みや景観の創造と保全	都市計画課
			63 計画的な土地利用の誘導	都市計画課
10	地域経済を支える豊かな産業を活かします	26	64 地元農水産物の消費拡大の推進	農林水産課
			65 中小企業の高度化・高付加価値化の推進	産業政策課
		27	66 中小企業の経営健全化促進	商業観光課
			67 商店街の活性化促進	商業観光課
			68 地域農業と経営基盤づくり	農業委員会事務局
			69 農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成	農林水産課
			70 農林水産業経営支援の促進	農林水産課
			71 農業生産基盤の整備推進	耕地課
			72 多面的機能が発揮できる生産環境づくり	農林水産課
		73 市内特産品の販路拡大の促進	商業観光課	
		28	74 新商品の開発の促進	産業政策課
75 進出意欲をもつ企業の立地促進	産業政策課			
76 地場産業の需要開拓の促進	産業政策課			
77 新産業の集積の促進	産業政策課			
78 産学官の連携による研究開発と人材育成	産業政策課			
29	79 観光資源の充実	商業観光課		
	80 モータースポーツの振興の促進	商業観光課		

■第5章 安全で安心できるまちづくり

政 策（主要テーマ）		施 策		単 位 施 策		担 当 課 名
12	災害に強いまちづくりを推進します	29	防災対策の推進	81	防災体制の充実	防災危機管理課 福祉総務課 消防課
				82	市民の防災力強化	防災危機管理課
		31	浸水・治水対策の推進	83	河川・排水路の整備推進	河川雨水対策課
				84	河川等の維持管理	河川雨水対策課
				85	都市浸水対策	河川雨水対策課
		32	地震災害対策の推進	86	建築物等の耐震化促進	防災危機管理課 建築指導課
				87	避難所の整備	防災危機管理課
13	安全なまちをめざします	33	消防力の強化	88	地域消防力の整備充実	消防総務課 消防課
				89	消防体制の充実強化	消防課 消防総務課 情報指令課
		34	交通安全対策の推進	90	交通安全意識の高揚	地域課
				91	生活道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 建築指導課
				92	交通安全施設の整備推進	道路保全課
				93	市道の維持管理	道路保全課 土木総務課
		35	建築物の安全性確保	94	安全で良質な建築物の確保	建築指導課
14	安心できる市民生活を確保します	36	防火・防犯対策の推進	95	防犯意識の高揚	地域課
				96	火災予防対策	予防課
		37	救急・救命対策の推進	97	救急業務高度化の推進	消防課
				98	応急手当の普及	消防課
		38	上水道の安定供給	99	企業性を重視した水道事業の経営	水道総務課
				100	水道料金に関する事務の効率化	営業課
				101	水道施設の整備・更新	工務課
				102	需要者ニーズを踏まえたサービスの充実	工務課 営業課
				103	水道施設の維持管理	水源課 工務課
		39	相談機能の拡充	104	安心できる消費生活の確保	産業政策課
105	市民相談窓口の充実			市民対話課		

■第6章 構想の推進のために

政 策（主要テーマ）		施 策	単位施策	担当課名	
(1)	市民みんなで取り組むまちづくりをめざします	40 市民参画が活発なまちづくり	106 市民参加のまちづくりの推進	地域課	
			107 市民参加の活動環境の充実	地域課	
		41 市民との情報共有の推進	108 市民への情報提供の推進	秘書広報課 市政情報課	
			109 市民の声の的確な把握	市民対話課 秘書広報課	
(2)	時代の変化に対応した行政経営をめざします	42 自治力の強化	110 国・県との連携	企画課 総務課	
			111 シティセールスの推進	企画課	
			112 機動的な組織・体制の構築	人事課 企画課	
			113 環境の変化に対応できる人材育成	人事課 総務課	
			114 自主財源の積極的な確保	納税課 市民税課 資産税課 秘書広報課	
		42 効果的・効率的な行政経営	115 広域行政の推進	企画課	
			116 総合的・計画的行政の推進	企画課 総務課	
			117 民間活力の導入	総務課 企画課	
			118 事務の効率化と行政コストの削減	総務課 市政情報課	
			119 計画的・効率的な財政運営	財政課	
		44 適正な事務運営	120 法令等に基づく事務の推進	総務課 市民税課 資産税課 契約調達課 市民課 会計課 選挙管理委員会事務局	
				121 監査・検査機能の充実	監査委員事務局 工事検査課 会計課
				122 適正な資産管理	管財営繕課 会計課
				123 情報資産の適正管理と共有	市政情報課
				124 働きやすい職場環境の充実	人事課

(3) 平成27年度外部評価実施単位施策評価シート

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		5 生み育てやすい地域社会づくり							8頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		保健福祉部児童保育課長		森川 洋行		保健福祉部子ども家庭支援課長		瀬井 より子		
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1:「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策03:子どもを育てやすい環境づくり(保健福祉部)							7頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■子育て家庭への支援(保健福祉部)								
4 目的		市内全域において、子育て家庭の交流ができる拠点を活用して、子育て中の親の負担が緩和されている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	地域子育て支援拠点事業の年間利用者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	実績値	73423	87553	88399	90967	91000	78000	78000		
	指標設定背景・根拠	利用者が増加することは、より多くの子育て家庭に支援サービスが提供されることを示し、さらに、子育て中の親の負担の緩和につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	38,465	36,203	36,893	34,966	39,678	37,805	51,290	—
	概算人件費	24,400	20,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,000	—	
	②現状を維持します	合計コスト	62,865	56,603	65,293	63,366	68,078	66,205	79,290	—
	(内)一般財源	42,848	37,999	46,501	44,374	41,279	40,924	47,498	—	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		つどいの広場事業の形態が多様化して、利用者に好評である。地域的な配置のバランスを考慮しつつ、市民ニーズに合ったものを考えていくこととする。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		核家族や隣近所など地域との関わりが希薄になっている現状から、子育てに対し不安を感じている保護者は多い。だれでも気軽に利用でき、相談できる職員や同じ子育て中の親が情報共有、情報交換できる場として利用して子育ての負担感の減少につなげてほしい施設である。保育所型、病院、単独など形態も様々で利用者の思いによって選んでいただきたいが、単独の施設が北西部方面にも設置できる地域バランスがいい。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		子ども・子育て支援事業計画に沿って事業を進めていくことになる。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度に おける事業の 方向性		28年度予 算配分等 に関する 優先順位		
			成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源			成果	活動量				事業費	一般 財源
1	継続 1号	005001	次世代育成支援行動計画策定事業(評価事業)				児童保育課		非該当	関連無し	21年度は会議の開催予定回数/22年度以降は評価項目予定数			回		
	23実績	10	300	800	1,100	1,100	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	20	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	24実績	10	300	800	1,100	1,100										
	25計画	12	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	25実績	12	300	800	1,100	1,100										
	26計画	12	300	800	1,100	1,100	→	→	↓	↓	→	統合	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	26実績	12	300	800	1,100	1,100										
	27計画	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	⑨28年度に他の事業と統合する	4	
27実績																
2	継続 1号	005002	子育て支援ショートステイ事業				児童保育課		非該当	関連無し	滞在日数			日		
	23実績	26	243	400	643	522	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	60	600	2,000	2,600	2,300	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	44	279	2,000	2,279	2,225										
	25計画	60	600	2,000	2,600	2,358	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25実績	109	733	2,000	2,733	2,291										
	26計画	90	924	2,000	2,924	2,550	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	26実績	132	938	2,000	2,938	2,277										
	27計画	120	1,200	2,400	3,600	2,858	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
27実績																
3	継続 1号	005003	地域子育て支援センター事業				児童保育課		非該当	関連無し	子育て支援センターりんの利用者数			人		
	23実績	32971	5,494	20,000	25,494	20,829	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	32971	5,530	20,000	25,530	21,830	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	24実績	34417	5,268	16,000	21,268	17,568										
	25計画	34500	5,566	24,000	29,566	25,866	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25実績	33040	5,107	24,000	29,107	25,407										
	26計画	34000	5,796	24,000	29,796	26,096	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績	31927	5,160	24,000	29,160	25,460										
	27計画	34000	5,780	24,000	29,780	26,080	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
27実績																
4	継続 1号	005004	つどいの広場事業				児童保育課		非該当	関連無し	参加者人数			人		
	23実績	54582	29,518	1,600	31,118	16,668	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	39379	32,035	1,600	33,635	17,618	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	53982	30,356	1,600	31,956	17,106										
	25計画	54000	30,427	1,600	32,027	17,177	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	54417	28,826	1,600	30,426	15,576										
	26計画	54300	32,658	1,600	34,258	11,533	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	26実績	50805	31,407	1,600	33,007	12,087										
	27計画	54300	44,310	1,600	45,910	18,560	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3	
27実績																
5	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 11		学校教育を支える地域社会づくり							15頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		教育委員会事務局教育支援課長	藺田 雅司							
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1: 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策04: 子どもの教育の充実(教育委員会事務局)							11頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■学校施設等の計画的な整備(教育委員会事務局) ■学力保障の推進(教育委員会事務局) ■キャリア教育の充実(教育委員会事務局) ■多文化共生教育の推進(教育委員会事務局) ■特別支援教育の推進(教育委員会事務局) ■地域ぐるみ教育環境づくり(教育委員								
4 目的		保護者や地域住民が学校教育活動に参画し、地域ぐるみで子どもの教育に取り組んでいる。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	市内小・中学校の学習支援ボランティア登録者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			6300	6600	6850	7100	7100		
	実績値	5679	6003	6001	6012	5756	-			
指標設定背景・根拠		学校教育活動に参加する地域の登録者が増えることで、学校教育への理解が深まり、地域ぐるみで子どもを教育する環境づくりにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	5,600	6,500	6,000	5,188	6,420	4,990	3,800	-
		概算人件費	4,000	4,000	12,000	12,000	10,400	12,000	12,000	-
	①拡大します	合計コスト	9,600	10,500	18,000	17,188	16,820	16,990	15,800	-
	(内)一般財源	9,000	6,576	17,000	16,188	14,216	16,190	15,800	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		各小中学校における保護者や地域住民による学校支援の定着が得られ、学校の特色ある取組が進められている。しかし、学校支援ボランティアの高齢化等により、登録人数の減少が見られる。多くの地域住民に対して、学校支援に係る取組の周知を図る必要がある。平成26年度の学校管理職及び学校運営協議会委員への意識調査では、92%以上で「学校運営協議会での協議が活発に行われている」となっている。フェイスブックや啓発チラシ等を活用し、積極的に情報発信を図った。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		国の第2期教育振興基本計画では、基本的方向性に「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」を掲げ、全国のコミュニティ・スクールを3,000校を目標に拡大が進められている。平成26年度の学校管理職及び学校運営協議会委員への意識調査では、約90%以上の「必要である」、「ある程度必要である」との結果であり、取組の成果が周知されることで、学校教育を支える地域社会づくりが発展するものと考えられる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		平成23年度から進めてきたコミュニティ・スクールの5年目のまとめとして、平成27年度に「鈴鹿市コミュニティ・スクール推進フォーラム」を開催し、学校運営協議会委員や学校支援ボランティア、保護者等の意識の向上を図り、学校が地域住民の交流の場となるなど、学校が核となる地域づくりを進めることで、地域の活性化へとつなげるよう、地域とともにある学校づくりを重要事業とする。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位					
		事業費	概算人件費	合計コスト	一般財源	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業の方向性	予算の方向性	
1	継続 1号	011001 コミュニティ・スクール推進事業					教育支援課 1 ソフト事業（任意）	戦略的事业⑥	関連無し	学校支援ボランティアの人数			人		
	23実績	40	0	3,200	3,800	3,740	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	統合	2
	24計画	6300	5,600	4,000	9,600	9,000	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	6001	6,500	4,000	10,500	6,576									
	25計画	6600	6,000	12,000	18,000	17,000	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	6012	5,188	12,000	17,188	16,188									
	26計画	6750	6,420	10,400	16,820	14,216	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績	5756	4,990	12,000	16,990	16,190									
	27計画	7100	3,800	12,000	15,800	15,800	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	27実績														
2	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
3	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
4	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
5	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 15		教育相談の充実							19頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		教育委員会事務局教育支援課長	藺田 雅司		保健福祉部子ども家庭支援課長	瀬井 より子				
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1:「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策04:子どもの教育の充実(教育委員会事務局)							11頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■学校施設等の計画的な整備(教育委員会事務局) ■学力保障の推進(教育委員会事務局) ■キャリア教育の充実(教育委員会事務局) ■多文化共生教育の推進(教育委員会事務局) ■特別支援教育の推進(教育委員会事務局) ■地域ぐるみ教育環境づくり(教育委員								
4 目的		幼児・児童・生徒とその保護者及び学校関係者が課題の解決に向けて、いつでも気軽に相談できる体制が整っている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	不登校児童生徒の割合						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			1.3	1.2	1.2	1.2	1.2		
	実績値	1.4	1.62	1.5	1.63	1.57	-			
指標設定背景・根拠	不登校の児童生徒が減少することは、いつでも気軽に教育相談ができる体制が整ってきていることを表す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	16,673	16,352	14,005	16,931	16,323	13,141	9,031	-
		概算人件費	39,200	39,200	25,600	35,200	32,000	29,600	29,600	-
	②現状を維持します	合計コスト	55,873	55,552	39,605	52,131	48,323	42,741	38,631	-
	(内)一般財源	55,873	55,552	39,605	52,131	48,323	42,741	38,631	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況, 目標の達成状況を踏まえて)		スクールライフサポーターを小学校14校に派遣して不登校傾向児童への登校支援・学校生活支援等を実施したことで小学校の不登校は若干減少したが、依然目標値の達成は困難な状況にある。しかし、適応指導教室での学習支援や体験活動の実施、学校や子ども家庭支援室との定期的な連絡会議の実施、不登校児童生徒保護者を対象とした相談会の開催等を行い、適応指導教室に通級した中学校3年生全員が高等学校への進学を果たす等の結果も得た。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望, 国・県の動向なども踏まえて)		国の第2次教育振興基本計画では、基本的方向性の一つ「社会を生き抜く力の養成」を図る中で、全児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合の低下を成果指標の一つとするとともに小中連携の促進等の施策が指摘されている。また、三重県での不登校の現状は、不登校児童生徒数は近年横ばいでありながら、小学校で増加傾向がみられており、不登校を減らすためには、新たな不登校を生まないための未然防止と早期対応が指摘される等、不登校対策は喫緊の重要課題となっている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		不登校対策は、最重要課題の一つとして取り組む必要がある。特に、小学校段階での初期支援に力点を置き、欠席しがちな児童を対象に登校を支援するスクールライフサポーターの活用を促進するとともに拡充を検討する。また、学校及び子ども家庭支援課との連携体制を一層緊密に図り、早期対応や家庭支援の充実を図る。さらに、適応指導教室の取組の充実や活用の周知を図り、不登校児童生徒への支援体制や学校復帰に向けた支援を充実させる。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度にお ける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	015001 教育相談事業				子ども家庭支援課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	—			—		
	23実績	—	7,916	10,400	18,316	18,316	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	7,939	10,400	18,339	18,339	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	—	7,948	10,400	18,348	18,348	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	—	5,842	10,400	16,242	16,242	→	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	平成25年度移管	—
	25実績	—	8,768	10,400	19,168	19,168	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26計画	—	7,993	10,400	18,393	18,393	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26実績	—	8,117	10,400	18,517	18,517	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27計画	—	2,500	10,400	12,900	12,900	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
2	継続 1号	015002 不登校対策事業				子ども家庭支援課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	不登校児童生徒の割合			%		
	23実績	1.62	944	9,600	10,544	10,544	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	1.3	785	9,600	10,385	10,385	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	1.59	785	9,600	10,385	10,385	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25計画	1.3	734	5,600	6,334	6,334	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	1.61	734	5,600	6,334	6,334	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26計画	1.3	4,774	9,600	14,374	14,374	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	1.57	4,707	9,600	14,307	14,307	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	27計画	1.2	5,667	9,600	15,267	15,267	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
27実績	—	—	—	—	—	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
3	継続 1号	015003 心のサポーター配置事業				子ども家庭支援課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	支援や対応した件数			件		
	23実績	9097	6,336	9,600	15,936	15,936	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	8750	7,000	9,600	16,600	16,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	7140	6,998	9,600	16,598	16,598	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25計画	—	7,000	0	7,000	7,000	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度移管	—
	25実績	7282	7,000	9,600	16,600	16,600	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度移管	—
	26計画	—	3,000	2,400	5,400	5,400	→	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	—	—
	26実績	—	0	0	0	0	→	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	—	—
	27計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
4	継続 1号	015004 就学相談事業				子ども家庭支援課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	就学判定した子どもの数			人		
	23実績	117	—	9,600	9,600	9,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	120	949	9,600	10,549	10,549	→	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	121	621	9,600	10,221	10,221	→	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	120	429	9,600	10,029	10,029	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度移管	—
	25実績	110	429	9,600	10,029	10,029	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度移管	—
	26計画	120	556	9,600	10,156	10,156	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	110	317	9,600	9,917	9,917	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27計画	120	564	9,600	10,164	10,164	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
5	新規 1号	015005 いじめ調査委員会				子ども家庭支援課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	—			—		
	23実績	—	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—
	24計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	—	300	—	300	300	—	—	—	—	—	—	—	—	①課題解決に向け緊急性が高い
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①課題解決に向け緊急性が高い	1

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 17		快適に利用できる運動施設の整備・運営							22頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		文化振興部スポーツ課長		石坂 健						
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1:「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策05:生涯スポーツの推進(文化振興部)							20頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略) ■市民参加型スポーツの推進(文化振興部) ■快適に利用できる運動施設の整備・運営(文化振興部)								
4 目的		運動施設が整備・充実され、多くの市民に利用されている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	運動施設及び学校体育施設の年間利用者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			1050000	1050000	1050000	1050000	1050000		
	実績値	1014559	977174	956634	932813	917176	-			
指標設定背景・根拠	年間利用者数の増加は、運動施設が整備・充実され、多くの市民に利用されていることを表す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	183,519	167,975	135,724	137,120	141,228	140,621	130,187	-
		概算人件費	32,800	32,800	28,000	28,000	31,200	27,200	27,200	-
	①拡大します	合計コスト	216,319	200,775	163,724	165,120	172,428	167,821	157,387	-
	(内)一般財源	216,319	200,775	163,724	165,120	172,428	167,821	157,387	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		運動施設の老朽化が進んでいる中、安全性の確保に重点を置きながら必要な修繕を実施し、多くの市民に利用されている。また、学校体育施設開放事業は、年間を通じて一定の利用者に活用され、つり天井改修による閉鎖等により利用者減となっているが効率的な利用が図られている。学校プール運営事業の統合や、夏季の天候不良による市民プールの利用者減から、利用者全体の人数は減少しているが、今後も指定管理者と協働し、利用者の促進に取り組んでいく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		運動施設の老朽化が進んでいるため、各施設の特性に応じた改修が必要となっている。特に、平成33年度国民体育大会ハンドボール競技のメイン会場に内定されている市立体育館の大規模改修を計画的に進めていくことが課題となっている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		平成33年度開催の国民体育大会の本会場に内定している市立体育館の整備改修計画を優先的に進めるとともに、その他の運動施設においては、安全性を最優先に緊急性が高い施設から整備、修繕を行う。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	017001	学校プール運営事業				スポーツ課	非該当	関連無し	小学校プール利用者数			人		
	23実績	17735	243	800	1,043	1,043	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	20428	251	800	1,051	1,051	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	24実績	27231	241	800	1,041	1,041									
	25計画	23000	241	800	1,041	1,041	→	→	↓	↓	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25実績	16936	227	800	1,027	1,027									
	26計画	17000	-	-	-	-	→	→	↓	↓	→	統合	大幅減		-
	26実績	-	-	-	-	-									
27計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
27実績															
2	継続 1号	017002	鈴鹿川サイクリングロード維持管理事業				スポーツ課	非該当	関連無し	年間除草回数			回		
	23実績	0	-	800	800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10
	24計画	2	900	800	1,700	1,700	→	→	↓	↓	↓	改善継続	減	⑨25年度に他の事業と統合する	10
	24実績	1	620	800	1,420	1,420									
	25計画	2	900	800	1,700	1,700	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25実績	1	702	800	1,502	1,502									
	26計画	2	900	800	1,700	1,700	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26実績	1	262	800	1,062	1,062									
27計画	2	600	800	1,400	1,400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
27実績															
3	継続 1号	017003	学校体育施設開放運営事業				スポーツ課	非該当	関連無し	学校体育施設開放利用者数			人		
	23実績	461488	5,877	3,200	9,077	9,077	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	461488	5,916	3,200	9,116	9,116	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	451946	5,914	3,200	9,114	9,114									
	25計画	456000	6,090	3,200	9,290	9,290	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	446569	6,061	3,200	9,261	9,261									
	26計画	447000	5,916	3,200	9,116	9,116	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績	415535	5,928	3,200	9,128	9,128									
27計画	420000	5,916	3,200	9,116	9,116	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7	
27実績															
4	継続 1号	017004	市立体育館・武道館管理運営事業				スポーツ課	非該当	関連無し	年間利用者数			人		
	23実績	225458	47,418	13,600	61,018	61,018	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	225458	52,053	12,000	64,053	64,053	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	236222	61,496	12,000	73,496	73,496									
	25計画	227000	51,499	12,800	64,299	64,299	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	236802	52,084	12,800	64,884	64,884									
	26計画	227000	57,954	16,800	74,754	74,754	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績	234390	57,064	12,800	69,864	69,864									
27計画	227000	54,550	12,800	67,350	67,350	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
27実績															
5	継続 1号	017005	西部体育館管理運営事業				スポーツ課	非該当	関連無し	年間利用者数			人		
	23実績	20124	12,619	800	13,419	13,419	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	20124	12,839	800	13,639	13,639	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	19182	12,839	800	13,639	13,639									
	25計画	19000	12,495	1,600	14,095	14,095	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	20232	12,805	1,600	14,405	14,405									
	26計画	20000	15,863	1,600	17,463	17,463	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26実績	20432	15,895	1,600	17,495	17,495									
27計画	20000	15,415	1,600	17,015	17,015	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
27実績															

6	継続 1号	017006 野球場等管理運営事業				スポーツ課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	28580	9,747	1,600	11,347	11,347	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	28580	9,681	1,600	11,281	11,281	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	31490	9,681	1,600	11,281	11,281	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25計画	29000	13,167	2,400	15,567	15,567	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	27318	13,132	2,400	15,532	15,532	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	27000	16,801	2,400	19,201	19,201	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	5
	26実績	28305	15,654	2,400	18,054	18,054	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	5
	27計画	27000	9,416	2,400	11,816	11,816	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
27実績															
7	継続 1号	017007 石垣池公園市民プール管理運営事業				スポーツ課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	18020	8,457	800	9,257	9,257	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	18020	8,392	800	9,192	9,192	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	19260	8,392	800	9,192	9,192	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	19000	13,354	1,600	14,954	14,954	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	20287	13,386	1,600	14,986	14,986	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	19000	8,607	1,600	10,207	10,207	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	14539	9,168	1,600	10,768	10,768	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27計画	19000	8,752	1,600	10,352	10,352	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
27実績															
8	継続 1号	017008 陸上競技場等管理運営事業				スポーツ課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	39238	22,985	1,600	24,585	24,585	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	39172	48,892	6,400	55,292	55,292	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	38642	49,367	6,400	55,767	55,767	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	40000	22,923	1,600	24,523	24,523	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	48146	23,162	1,600	24,762	24,762	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26計画	45000	21,081	1,600	22,681	22,681	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績	53661	21,179	1,600	22,779	22,779	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27計画	45000	21,287	1,600	22,887	22,887	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
27実績															
9	継続 1号	017009 鈴鹿川河川緑地運動施設管理運営事業				スポーツ課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	119438	4,430	800	5,230	5,230	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	119438	4,400	800	5,200	5,200	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	24実績	85497	4,400	800	5,200	5,200	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25計画	132000	4,960	1,600	6,560	6,560	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	25実績	69582	5,197	1,600	6,797	6,797	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26計画	70000	4,300	1,600	5,900	5,900	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	26実績	101713	4,765	1,600	6,365	6,365	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	27計画	100000	4,300	1,600	5,900	5,900	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
27実績															
10	継続 1号	017010 鼓ヶ浦サン・スポーツランド管理運営事業				スポーツ課 3 施設管理運営事業			非該当	関連無し	年間利用者数			人	
	23実績	47093	23,250	800	24,050	24,050	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	47093	10,195	800	10,995	10,995	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	47164	10,195	800	10,995	10,995	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25計画	49000	10,095	1,600	11,695	11,695	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25実績	46941	10,364	1,600	11,964	11,964	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26計画	47000	9,806	1,600	11,406	11,406	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26実績	48601	10,706	1,600	12,306	12,306	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	27計画	47000	9,951	1,600	11,551	11,551	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 21		市民参加型文化事業の推進								29頁
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	文化振興部文化課長	井上 陽子								
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり								1頁
	政策	政策2：魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます								26頁
	施策	施策08：文化活動の促進（文化振興部）								28頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）■文化的施設の整備・運営（文化振興部）								
4 目的		市民が文化事業に参加し、芸術文化を楽しんでいる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	鈴鹿市，文化振興事業団及び芸術文化協会事業への参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			21000	22000	23000	24000	24000		
	実績値	15815	20008	19235	21634	23328	-			
指標設定背景・根拠	文化事業への参加者数の増加は、市民が芸術文化に、より親しんでいることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	34,496	34,494	42,726	42,672	47,115	47,539	48,091	-
	概算人件費	28,000	28,000	12,000	12,000	10,400	10,400	10,400	-	
	②現状を維持します	合計コスト	62,496	62,494	54,726	54,672	57,515	57,939	58,491	-
	(内)一般財源	62,496	62,494	52,295	52,241	54,856	54,780	55,721	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		第2次鈴鹿市文化振興ビジョンに基づき文化の振興を着実に進め、各種事業を行うことにより参加者数も伸びてきている。 今後も 数値目標達成に向けて各種事業を引き続き実施していく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		文化団体への補助については、市民の文化芸術活動の支援や文化的水準の向上へ寄与しているか、また経営状況の健全性が確保できているのか確認が必要である。 市美術展や文芸賞での出品数が減る傾向にあり、マンネリ化を防ぐ新たな工夫や策を考える必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		各文化団体等への支援継続は行いつつ、事業効果が着実に結果となって現れるよう積極的指導を行なうなど、団体運営に関わっていく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位	
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	021001	鈴鹿市文化振興事業団補助事業				文化課	非該当	関連無し	文化振興事業参加人数			人		
	23実績	15059	23,633	16,800	40,433	40,433	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	12000	25,477	8,000	33,477	33,477	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	12642	25,477	8,000	33,477	33,477									
	25計画	12000	33,595	3,200	36,795	36,795	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	13778	33,595	3,200	36,795	36,795									
	26計画	12400	37,506	3,200	40,706	40,706	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	16199	38,006	3,200	41,206	40,706									
	27計画	14200	38,378	3,200	41,578	41,578	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	27実績														
2	継続 1号	021002	鈴鹿市芸術文化協会補助事業				文化課	非該当	関連無し	芸文協祭への入り込み客数			人		
	23実績	3325	3,300	800	4,100	4,100	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	4000	3,300	800	4,100	4,100	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	3093	3,300	800	4,100	4,100									
	25計画	3000	3,300	800	4,100	4,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	3479	3,300	800	4,100	4,100									
	26計画	3200	3,300	800	4,100	4,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	3512	3,300	800	4,100	4,100									
27計画	3700	3,430	800	4,230	4,230	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
27実績															
3	継続 1号	021003	あなたが見せる「スズカの文化」事業				文化課	非該当	関連無し	各事業への参画者数			人		
	23実績	1624	4,500	6,400	10,900	10,900	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	4000	3,500	6,400	9,900	9,900	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	4530	3,499	6,400	9,899	9,899									
	25計画	4000	3,400	4,800	8,200	8,200	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	5479	3,346	4,800	8,146	8,146									
	26計画	4500	3,650	4,000	7,650	7,650	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	4205	3,574	4,000	7,574	7,574									
27計画	4200	3,513	4,000	7,513	7,513	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
27実績															
4	継続 1号	021004	文化振興ビジョン策定事業				文化課	非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	644	8,000	8,644	8,644	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	-	237	10,400	10,637	10,637	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	-	-
	24実績	-	236	10,400	10,636	10,636									
	25計画	-	-	-	-	-	↓	↓	↓	↓	↓	-	大幅減	-	-
	25実績	-	-	-	-	-									
	26計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26実績	-	-	-	-	-									
27計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
27実績	-	-	-	-	-										
5	継続 1号	021005	市制70周年記念事業（鈴鹿の街音楽祭開催）				文化課	非該当	関連無し	音楽祭への参加者数			人		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	2000	1,982	2,400	4,382	4,382	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	-	-
	24実績	2068	1,982	2,400	4,382	4,382									
	25計画	-	-	-	-	-	↓	↓	↓	↓	↓	-	大幅減	-	-
	25実績	-	-	-	-	-									
	26計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26実績	-	-	-	-	-									
27計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
27実績	-	-	-	-	-										

継続 1号	021006 音楽の街事業					文化課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	音楽公演への参加者数			人
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業	
6	23実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	1800	2,431	3,200	5,631	3,200	→	→	→	→	→	→	→	→
	25実績	2402	2,431	3,200	5,631	3,200	→	→	→	→	→	→	→	→
	26計画	2000	2,659	2,400	5,059	2,400	→	→	→	→	→	→	→	→
	26実績	2326	2,659	2,400	5,059	2,400	→	→	→	→	→	→	→	→
27計画	2400	2,770	2,400	5,170	2,400	→	→	→	→	→	→	→	→	
27実績														
7	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
27計画														
27実績														
8	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
27計画														
27実績														
9	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
27計画														
27実績														
10	23実績													
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
27計画														
27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		新エネルギーの導入促進								36頁
2 作成者	職名	環境部環境政策課長		氏名		勝田 成仁		職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり								31頁
	政策	政策3：環境への負荷の少ない循環型社会を進めます								31頁
	施策	施策10：地球温暖化防止活動の推進（環境部，都市整備部）								35頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地球温暖化対策の推進（環境部）								
4 目的	新エネルギー設備やクリーンエネルギー自動車の普及促進により，地球温暖化の要因である温室効果ガスの排出が抑制されている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	住宅用太陽光発電システム設置件数							単位	件
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			400	500	400	250	250		
	実績値	246	344	362	348	-	-			
指標設定背景・根拠	家庭用新エネルギー設備が普及することは，温室効果ガスの排出が抑制されていることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	7,500	12,886	9,000	10,272	10,762	7,417	13,109	-
		概算人件費	16,000	20,000	16,800	16,800	12,000	12,000	9,600	-
	①拡大します	合計コスト	23,500	32,886	25,800	27,072	22,762	19,417	22,709	-
	(内)一般財源	23,500	31,886	25,800	26,962	18,931	15,582	21,922	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)	家庭用新エネルギー設備及びクリーンエネルギー自動車については，着実に普及が進み環境に対する意識も高まっていると判断し，平成26年度より事業を廃止したことによって成果指標が失われたが，類似データによると本市の平成26年度の10kW未満の太陽光発電導入件数は約980件となっており，温室効果ガスの排出抑制は順調に進んでいる。また，低炭素社会実現に向け，市の管理する照明灯をLED照明に切り替えることで地球温暖化防止に貢献している他，再生可能エネルギー発電設備及び蓄電池等設備の設置により，環境負荷の低減に加え災害にも強い地域づくりが図られている。なお，目標設定に課題はあるが，最終目標は既に達成している。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)	東日本大震災及び原子力発電施設の事故を契機とした電力需給の逼迫などを背景として，災害に強く環境負荷の小さい地域づくりが国を挙げての課題である。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)	環境省では「災害に強く，低炭素な地域づくり」を推進する方向性が示されており，引き続き防災拠点としてなりうる公共性を有する施設に再生可能エネルギーの導入促進を図っていく。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位				
		成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費			一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性
1	継続 1号	026001	家庭用新エネルギー普及支援事業				環境政策課		非該当	関連無し	家庭用新エネルギー設備設置による年間CO2削減量（申請件数ベース）			kg	
	23実績	190320	1,500	4,000	5,500	5,500	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	171000	1,500	4,000	5,500	5,500	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	192400	1,500	4,000	5,500	5,500	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25計画	171000	1,500	4,000	5,500	5,500	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	184440	1,500	4,000	5,500	5,500	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃止	増減なし	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃止	増減なし	—	—
2	継続 1号	026002	クリーンエネルギー自動車普及促進事業				環境政策課		重要事業	関連無し	クリーンエネルギー自動車の年間CO2削減量			kg	
	23実績	315928	4,000	4,000	8,000	8,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	234600	6,000	4,000	10,000	10,000	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	541144	6,026	4,000	10,026	10,026	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	234600	6,750	4,000	10,750	10,750	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	337042	7,386	4,000	11,386	11,386	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃止	増減なし	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	廃止	増減なし	—	—
3	新規 1号	026003	電気自動車用急速充電器設置事業				環境政策課		非該当	関連無し	電気自動車用急速充電器設置台数			台	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—
	24計画	1	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	1	4,902	4,000	8,902	7,902	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	—	—
	25実績	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	—	—
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	継続 1号	026004	メガソーラー設置運営事業				環境政策課		非該当	関連無し	メガソーラー設備設置箇所数			箇所数	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	—
	24計画	1	0	8,000	8,000	8,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	1	458	8,000	8,458	8,458	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	1	—	4,800	4,800	4,800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	1	—	4,800	4,800	4,800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	完了	人件費のみ	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	完了	人件費のみ	—	—
5	継続 1号	026005	街路灯等へのLED照明導入促進事業				環境政策課		非該当	関連無し	年間CO2削減量			kg	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	359100	5,000	4,000	9,000	5,250	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	132880	4,666	4,000	8,666	4,940	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27計画	0	7,000	1,600	8,600	8,600	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	

6	継続 1号	026006 再生可能エネルギー推進事業					環境政策課 1 ソフト事業（任意）			非該当	関連無し	—	—	—	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費						一般財源
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	—	5,000	4,000	9,000	9,000	→	→	→	→	→	現状継続	—	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績	—	2,000	4,000	6,000	6,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	—	5,000	4,000	9,000	9,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	継続 1号	026007 電気自動車用急速充電器運用事業					環境政策課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	電気自動車による年間CO2排出削減量	kg		
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費					一般財源	作業時間
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	750	4,000	4,750	4,750	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	843317.7	1,386	4,000	5,386	5,276	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	748950	762	4,000	4,762	4,681	→	→	→	→	→	現状継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	1124922.9	751	4,000	4,751	4,642	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	748950	1,109	4,000	5,109	4,322	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
9	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
10	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		地球温暖化防止啓発活動の推進							38頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		環境部環境政策課長		勝田 成仁						
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり							31頁	
	政策	政策3：環境への負荷の少ない循環型社会を進めます							31頁	
	施策	施策10：地球温暖化防止活動の推進（環境部，都市整備部）							35頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■地球温暖化対策の推進（環境部）								
4 目的		地球温暖化防止の啓発により，市民が温室効果ガスの排出抑制について理解し，実践している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	環境出前講座・イベント参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			1850	1900	1950	2000	2000		
	実績値	1850	1812	2094	2133	2077	-			
指標設定背景・根拠	環境出前講座やイベントへの参加者が増えることは，地球温暖化防止の意識が高まり，温室効果ガス削減の取組が実践されている。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	315	156	246	238	239	307	377	-
		概算人件費	16,800	16,800	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800	-
	①拡大します	合計コスト	17,115	16,956	9,046	9,038	9,039	9,107	9,177	-
	(内)一般財源	17,115	16,956	9,046	9,038	9,039	9,107	9,177	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		環境出前講座やイベント参加者数は，目標数値は上回ったが前年の参加者数よりは下回った。これは，屋外でのイベントが天候により左右されたものと考えられる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		啓発活動を推進していくには，行政だけでは限界があり，各種団体の協力は不可欠であると考えられ，引き続き協力団体との連携が必要である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位を考え方)		啓発活動については，継続的かつわかりやすく市民に伝える事が重要であり，各種団体とも引き続き連携しながら，市民の意識高揚を図り，市民を巻き込んだ啓発活動を促進する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業類型			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位	
		事業費	概算人件費	合計コスト	一般財源	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業の方向性	予算の方向性			
1	継続 1号	028001 地球温暖化防止啓発事業				環境政策課	非該当	関連無し	Suzuka-EC027 [®] 防災外事業 参加児童数			人			
	23実績	61.1	125	4,800	4,925	4,925	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	60	139	4,800	4,939	4,939	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	84	156	4,800	4,956	4,956									
	25計画	60	246	4,800	5,046	5,046	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	75	238	4,800	5,038	5,038									
	26計画	60	239	4,800	5,039	5,039	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績	142	307	4,800	5,107	5,107									
	27計画	60	377	4,800	5,177	5,177	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
27実績															
2	継続 1号	028002 環境基本計画策定				環境政策課	非該当	関連無し	1 ソフト事業（任意）			—			
	23実績	—	1,164	12,000	13,164	13,164	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	—	176	12,000	12,176	12,176	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	—	0	12,000	12,000	12,000									
	25計画	—	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	—	0	4,000	4,000	4,000									
	26計画	—	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績	—	0	4,000	4,000	4,000									
	27計画	—	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 30		緑化施策の推進							41頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		都市整備部市街地整備課長		天野 直樹		土木部道路保全課長		川村 茂樹		
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり							31頁	
	政策	政策4：自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します							39頁	
	施策	施策11：緑豊かな自然と共生したまちづくり（環境部，土木部，都市整備部）							39頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■緑の保全と緑化施策の推進（都市整備部）								
4 目的		自然環境と共生するまちづくりが進んでいる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	緑に対する満足度						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			60	64	68	72	72		
	実績値	52.9	54.3	50.5	52.5	57.2	-			
指標設定背景・根拠	緑に対する満足度が増加することは、市民との協働により緑化政策を推進され、環境と共生するまちづくりが進んでいることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	675,173	658,045	766,949	729,916	550,506	556,506	291,793	-
		概算人件費	51,200	52,000	57,700	56,100	61,200	61,200	64,400	-
	①拡大します	合計コスト	726,373	710,045	824,649	786,016	611,706	617,706	356,193	-
	(内)一般財源	722,373	393,911	354,209	337,606	438,116	442,378	326,453	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		関係事務事業を推進し、特に維持管理に重点を置いて緑の保全に努めたが、指標の目標としては達成できていない。これはメルモニのアンケート結果による、緑に対する満足度を指標実績値としており、この数値が伸び悩んでいることからである。 理由としては、アンケート中の緑に対する関心度について、関心があるとの回答が82.4%と非常に高いことから、緑に対する要求度が高いものと思料でき、このことから、満足度が低く伸びにくいものと推測される。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		上記総合評価のとおり、市民の緑に対する関心は非常に高く、緑への要求度も高いものと思料されるところであるが、一方でアンケート中の意見では、緑と市民生活との関わり方による維持管理の問題を指摘する意見があり、適切な維持管理による緑の保全が望まれている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		緑の保全のため、公園緑地の維持管理を優先する。次に緑化の推進に有効となる整備事業を進め、緑に対する満足度の向上に繋げたい。 そのほか、子供広場等整備費補助や生垣設置費補助の活用のPRに努める。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に 関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	030001 都市公園施設整備事業				市街地整備課 6 ハード事業等		非該当	関連無し	予算活用率			%		
	23実績	9.19	84,636	12,800	97,436	97,436	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	100	15,000	9,600	24,600	24,600	→	↑	↑	↑	→	現状継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	100	15,083	9,600	24,683	24,683									
	25計画	100	15,000	12,800	27,800	27,800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	100	14,801	8,800	23,601	23,601									
	26計画	100	15,000	8,800	23,800	23,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	100	25,200	8,800	34,000	34,000									
	27計画	100	43,000	16,000	59,000	37,400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	27実績														
2	継続 1号	030002 子供広場等整備費補助事業				市街地整備課 6 ハード事業等		非該当	関連無し	補助金の活用率			%		
	23実績	50	1,500	5,600	7,100	7,100	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	3,000	5,600	8,600	8,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	52.8	1,583	5,600	7,183	7,183									
	25計画	100	3,000	4,000	7,000	7,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25実績	50	1,500	4,800	6,300	6,300									
	26計画	100	3,000	4,800	7,800	7,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績	7.3	218	4,800	5,018	5,018									
27計画	100	3,000	7,200	10,200	10,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
27実績															
3	継続 1号	030003 公園緑地維持管理事業				市街地整備課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	公園修繕等要望の対応数			箇所		
	23実績	290	196,103	18,400	214,503	214,503	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	210	192,415	16,800	209,215	208,215	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	2
	24実績	252	207,362	16,800	224,162	218,828									
	25計画	252	197,001	24,900	221,901	217,061	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	1
	25実績	242	198,624	29,700	228,324	223,214									
	26計画	242	236,456	32,400	268,856	263,716	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	1
	26実績	254	236,868	32,400	269,268	262,390									
27計画	254	242,543	32,400	274,943	269,803	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
27実績															
4	継続 2号	030004 防災公園整備事業				市街地整備課 6 ハード事業等		戦略的事業③	関連無し	—			—		
	23実績	—	344,645	4,800	349,445	95,645	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	—	411,508	7,200	418,708	418,708	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	—	380,928	8,800	389,728	81,928									
	25計画	—	548,698	12,000	560,698	98,098	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	—	511,922	8,000	519,922	79,622									
	26計画	—	254,800	8,000	262,800	126,900	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑩27年度で完了	2
	26実績	—	254,748	8,000	262,748	126,848									
27計画	—	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	—	完了	減		—	
27実績															
5	継続 1号	030005 緑化推進事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	実施箇所数			箇所数		
	23実績	12	3,000	800	3,800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	12	3,000	3,200	6,200	3,200	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	10	3,000	3,200	6,200	3,200									
	25計画	12	3,000	2,400	5,400	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	9	3,000	2,400	5,400	2,400									
	26計画	9	3,000	2,400	5,400	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	26実績	12	3,000	2,400	5,400	2,400									
27計画	12	3,000	2,400	5,400	2,400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
27実績															

	030006 生垣設置費補助						市街地整備課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	補助金活用率			%			
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	26計画	26実績	27計画	27実績			成果	活動量	事業費		一般財源	作業時間	事業
6	23実績	24.6	123	3,200	3,323	3,323												3
	24計画	100	250	3,200	3,450	3,450	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	66.4	166	3,200	3,366	3,366	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25計画	100	250	1,600	1,850	1,850	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	27.6	69	2,400	2,469	2,469	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	26計画	100	250	2,400	2,650	2,650	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	26実績	49.2	123	2,400	2,523	2,523	→	→	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	27計画	0	250	6,400	6,650	6,650	→	↓	→	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
27実績																		
7	継続 2号	030007 江島総合スポーツ公園拡張事業						市街地整備課 6 ハード事業等			重要事業	関連無し	-			-		
	23実績	-	5,898	800	6,698	6,698	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5			
	24計画	-	50,000	5,600	55,600	55,600	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	-	-			
	24実績	-	49,923	4,800	54,723	54,723												
	25計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	25実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	26計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	26実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	27計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
27実績																		
8	継続 2号	030008 岸岡537号線						市街地整備課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	-	-	6,698	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-			
	24計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	24実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	25計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	25実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	26計画	-	38,000	2,400	40,400	10,850	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	⑩27年度で完了	5			
	26実績	-	36,349	2,400	38,749	9,199												
	27計画	-	0	0	0	0	→	↓	↓	↓	↓	完了	人件費のみ	-	-			
27実績																		
9																		
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算					
	24計画																	
	24実績																	
	25計画																	
	25実績																	
	26計画																	
	26実績																	
	27計画																	
27実績																		
10																		
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算					
	24計画																	
	24実績																	
	25計画																	
	25実績																	
	26計画																	
26実績																		
27計画																		
27実績																		

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 33		公共下水道（污水）の整備							45頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		都市整備部下水建設課長		竹嶋 昇		都市整備部下水総務課長		山口 和也		
		都市整備部下水維持課長		杉本 守						
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり							31頁	
	政策	政策4：自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します							39頁	
	施策	施策12：生活排水対策の推進（環境部，産業振興部，都市整備部）							42頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■公共下水道（污水）の整備促進（都市整備部）								
4 目的		公共下水道事業の推進により，公共用水域の水質が良好に保全されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	公共下水道処理人口普及率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			49.1	50.6	51.3	53.4	53.4		
	実績値	45.9	49	50.5	53.1	53.9	-			
指標設定背景・根拠	公共下水道処理人口普及率が増加することは，公共用水域の水質がより良好な状態に改善されていることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	3,319,019	2,793,819	2,730,458	2,067,388	2,815,672	2,237,325	2,995,458	-
		概算人件費	232,400	232,400	229,200	229,200	235,840	235,840	234,000	-
	①拡大します	合計コスト	3,551,419	3,026,219	2,959,658	2,296,588	3,051,512	2,473,165	3,229,458	-
	(内)一般財源	75,927	196,720	201,763	186,411	219,166	304,684	224,116	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		成果指標である普及率は，目標値を上回り順調に推移している。しかしながら，本事業は，先行投資型の事業であるため，建設費の財源確保は，今後も非常に厳しい状況が続くこととなることから，投資効果の高い地域から今後も継続的に整備を進める必要がある。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		平成25年9月に事業計画区域を拡大し，平成26年度からは三重県が南部浄化センター第2期工事に着手することとなり，整備面積を拡大することに目途がついた。事業の着実な実施には，国や本市の厳しい財政状況の中で，事業費用の安定的な確保と全体計画の見直しが必要と考えている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		平成26年度からは，国庫補助事業である社会資本総合整備計画の2回目の5ヵ年計画にて事業を進めており，引き続き，投資効果の高い人口密度地域から優先して整備を進めていく。また，企業会計の全部適用（組織規定の適用）を進め，事業経営の安定化を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度にお ける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果			活動量				事業費	一般 財源
1	継続 1号	033001 公共下水道受益者負担金等賦課徴収事務				下水維持課		非該当	関連有り	受益者負担金及び下水道 使用料の収納率（現年 度）			%		
	23実績	96.8 (見込み)	42,077	48,000	90,077	53,408	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業
	24計画	96	74,724	48,000	122,724	14,960	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	7
	24実績	98	78,033	48,000	126,033	15,085	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	7
	25計画	96	72,191	40,000	112,191	1,179	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増減なし	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	5
	25実績	98	73,476	40,000	113,476	8,665	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	26計画	96	70,759	32,000	102,759	4,631	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	26実績	97.8	73,131	32,000	105,131	3,911	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	27計画	96	72,600	32,000	104,600	4,356	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	27実績														
2	継続 1号	033002 公共下水道水洗化促進事務				下水維持課		非該当	関連無し	水洗化率			%		
	23実績	79.89	3,582	16,000	19,582	16,254	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業
	24計画	79.8	5,002	16,000	21,002	601	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	24実績	80.3	4,023	16,000	20,023	16,188	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	25計画	81.2	5,196	16,000	21,196	16,145	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	25実績	82.2	3,646	16,000	19,646	15,563	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	26計画	82.6	6,017	20,000	26,017	20,113	↑	↑	→	↑	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
	26実績	82.6	4,252	20,000	24,252	20,094	↑	↑	→	↑	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4
27計画	84	3,463	20,000	23,463	20,085	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	4	
27実績															
3	継続 1号	033003 北勢沿岸流域下水道県営事業負担金事務				下水総務課		非該当	関連無し	関連公共下水道からの汚 水流入量確保			%		
	23実績	100	691,860	1,600	693,460	4,366	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業
	24計画	3	842,646	1,600	844,246	2,046	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	5
	24実績	3	622,493	1,600	624,093	3,639	→	→	→	→	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	25計画	3	877,159	4,800	881,959	5,459	→	→	→	→	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	25実績	3	716,013	4,800	720,813	4,800	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	26計画	3	1,013,262	4,800	1,018,062	15,762	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	26実績	3	844,112	4,800	848,912	9,188	→	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
27計画	3	969,845	4,800	974,645	12,645	→	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2	
27実績															
4	継続 1号	033004 企業会計全部適用移行準備事業				下水総務課		非該当	関連無し	移行に向けた検討項目の 数			項目		
	23実績	100	322	19,200	19,522	19,522	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業
	24計画	5	5,000	14,400	19,400	19,400	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	6
	24実績	2	0	14,400	14,400	14,400	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	6
	25計画	5	5,000	16,000	21,000	21,000	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	6
	25実績	5	0	16,000	16,000	16,000	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	6
	26計画	5	4,000	16,000	20,000	20,000	↑	↑	↑	→	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	6
	26実績	11	0	16,000	16,000	16,000	↓	↓	↓	↓	↓	完了	人件費のみ	⑪28年度で廃止	-
27計画	5	15,000	16,000	31,000	31,000										
27実績															
5	継続 1号	033005 特定地域合併処理浄化槽設置費補助事業				下水総務課		非該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	-	80	80	80	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業
	24計画	-	3,180	80	3,260	3,260	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	8
	24実績	-	0	80	80	80	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	7
	25計画	-	3,180	80	3,260	3,260	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨27年度に他の 事業と統合する	-
	25実績	-	0	80	80	80	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑨28年度に他の 事業と統合する	8
	26計画	-	2,180	8,000	10,180	10,180	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし		
	26実績	-	286	8,000	8,286	8,286	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし		
27計画	-	1,590	8,000	9,590	9,590	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし			
27実績															

	継続 1号	033006 公共下水道汚水施設維持修繕事務					下水維持課 4 施設維持管理事業			非該当	関連無し	下水道管詰まり件数			件
		成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続						
6	23実績	1	18,757	11,520	30,277	11,520	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	5	36,987	12,800	49,787	0	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	24実績	2	38,744	12,800	51,544	0	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25計画	2	43,915	12,800	56,715	0	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	2	35,580	12,800	48,380	-1,103	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	26計画	5	49,717	21,760	71,477	0	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	26実績	3	35,460	21,760	57,220	0	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	27計画	5	46,265	21,760	68,025	0	↑	↑	↑	→	↑	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	27実績														
7	継続 2号	033007 公共下水道（汚水）排水施設整備事業					下水建設課 6 ハード事業等			重要事業	関連無し	-			-
	23実績	-	1,849,634	139,920	1,989,554	139,920	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	2,327,480	137,440	2,464,920	20,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	-	2,034,218	137,440	2,171,658	137,440	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	-	1,704,817	137,440	1,842,257	137,440	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	-	1,233,401	137,440	1,370,841	137,440	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	-	1,650,737	127,360	1,778,097	127,360	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	-	1,266,618	127,360	1,393,978	230,239	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	27計画	-	1,871,695	127,360	1,999,055	127,360	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	27実績														
8	継続 2号	033008 公共下水道地震対策事業					下水建設課 6 ハード事業等			重要事業	関連無し	-			-
	23実績	-	7,935	2,000	9,935	2,485	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	-	9,000	1,920	10,920	500	→	↓	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	2
	24実績	-	10,513	1,920	12,433	3,933	→	↓	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	2
	25計画	-	4,000	1,920	5,920	2,120	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	平成26年度完了	-
	25実績	-	2,512	1,920	4,432	2,046	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	平成26年度完了	-
	26計画	-	4,000	1,840	5,840	2,040	↓	↓	↓	↓	↓	現状継続	増減なし	平成26年度完了	-
	26実績	-	2,483	1,840	4,323	1,903	↓	↓	↓	↓	↓	現状継続	増減なし	平成26年度完了	-
	27計画	-	0	0	0	0	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	6
	27実績														
9	継続 1号	033009 公共下水道整備事業（受託事業分）					下水建設課 6 ハード事業等			非該当	関連無し	-			-
	23実績	-	2,321	80	2,401	80	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	-	15,000	160	15,160	15,160	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	24実績	-	5,795	160	5,955	5,955	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	25計画	-	15,000	160	15,160	15,160	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25実績	-	2,760	160	2,920	2,920	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	26計画	-	15,000	4,080	19,080	19,080	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績	-	10,983	4,080	15,063	15,063	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27計画	-	15,000	4,080	19,080	19,080	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27実績														
10	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 34		環境美化及び公衆衛生の向上								47頁
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	環境部環境政策課長	勝田 成仁								
3 総合計画体系	政策の柱	第2章 環境と共生するまちづくり								31頁
	政策	政策4：自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します								39頁
	施策	施策13：良好な生活環境の確保（環境部）								46頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）■斎苑の施設整備（環境部）								
4 目的		環境美化や公衆衛生に関する市民のモラルが向上し、快適な生活環境が確保されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	雑草に関する苦情処理件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計最終目標（H27）		
	目標値	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	165		
	実績値	174	157	197	229	219	-			
	指標設定背景・根拠	苦情処理件数の減少は、市民のモラルが向上している状況を示し、快適な生活環境の確保につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	56,191	50,753	57,457	54,218	59,258	52,713	65,610	-
		概算人件費	30,360	30,360	30,360	29,160	25,310	24,330	22,630	-
	②現状を維持します	合計コスト	86,551	81,113	87,817	83,378	84,568	77,043	88,240	-
	(内)一般財源	62,588	56,744	63,495	59,385	59,832	53,563	56,656	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		雑草に関する苦情は、昨年度よりは減少したものの、目標値を達成することはできなかった。今後も啓発を図り市民モラルの向上に努めたい。 斎苑の維持管理に関しては、施設台帳をもとに計画的に維持修繕を実施しているが、施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加してきている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		斎苑については、10年毎の炉の大規模改修の時期が来ている。一方、炉の増設や斎苑自体の増改築の検討時期でもあり早急な計画策定が必要である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		炉の大規模改修と併せ、斎苑の増改築の方向性とPFI手法を含めた建設・維持管理について検討する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）									
		様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	
1	継続 1号	034001 公衆浴場補助事業				環境政策課		非該当	関連無し	公衆浴場軒数			軒		
						1 ソフト事業（任意）									
	23実績	2	392	80	472	472	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	1	392	80	472	472	→	→	→	→	→	改善継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	24実績	1	285	80	365	365	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	7
	25計画	1	225	80	305	305	→	→	↓	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	7
	25実績	1	55	80	135	135	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	8
	26計画	1	225	80	305	305	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	7
	26実績	1	111	80	191	191	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	8
27計画	1	120	80	200	200	→	→	↓	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	8	
27実績															
2	継続 1号	034002 環境衛生対策事業				環境政策課		非該当	関連無し	雑草に関する苦情・相談件数			件		
						1 ソフト事業（任意）									
	23実績	157	20	5,120	5,140	5,140	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	160	20	2,800	2,820	2,820	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	197	20	2,800	2,820	2,820	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	160	20	2,800	2,820	2,820	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	229	20	2,800	2,820	2,820	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26計画	160	21	2,580	2,601	2,601	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績	219	21	2,580	2,601	2,601	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
27計画	160	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
27実績															
3	継続 1号	034003 斎苑運営事業				環境政策課		非該当	関連無し	—			—		
						2 ソフト事業（義務）									
	23実績	—	34,471	21,600	56,071	51,044	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	34,966	18,000	52,966	47,872	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	—	34,740	18,000	52,740	47,792	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	—	35,831	18,000	53,831	48,578	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	—	35,487	18,000	53,487	48,195	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	—	39,371	16,020	55,391	49,979	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	—	37,203	16,020	53,223	47,920	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
27計画	—	39,809	16,020	55,829	50,212	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
27実績															
4	継続 1号	034004 斎苑維持管理事業				環境政策課		非該当	関連無し	開苑日数			日		
						4 施設維持管理事業									
	23実績	353	15,559	2,400	17,959	7,888	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	352	15,397	2,000	17,397	7,337	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	352	11,115	2,000	13,115	2,790	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	352	15,097	2,000	17,097	6,837	→	↓	↓	↓	→	改善継続	減	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25実績	352	13,981	2,000	15,981	6,339	→	↓	↓	↓	→	改善継続	減	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26計画	352	15,097	1,780	16,877	6,362	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	26実績	352	12,120	1,780	13,900	4,442	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
27計画	353	15,097	1,780	16,877	6,364	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
27実績															
5	継続 1号	034005 畜犬等対策事業				環境政策課		非該当	関連無し	—			—		
						1 ソフト事業（任意）									
	23実績	—	1,597	800	2,397	2,397	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	—	1,600	1,600	3,200	3,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	—	1,596	1,600	3,196	3,196	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	—	1,600	1,600	3,200	3,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	—	1,659	1,600	3,259	3,259	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	—	1,820	800	2,620	2,620	↑	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績	—	1,808	800	2,608	2,608	↑	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
27計画	—	1,750	800	2,550	2,550	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4	
27実績															

6	継続 1号	034006 EM菌の活用による環境浄化事務	環境政策課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	年間活性液配布件数				件		
	23実績	3241	1,130	800	1,930	1,930	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	3500	1,414	800	2,214	2,214	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	3563	1,377	800	2,177	2,177	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	3500	1,111	800	1,911	1,911	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	減	平成25年度廃止	—
	25実績	1224	603	800	1,403	1,403	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	減	平成25年度廃止	—
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	継続 1号	034007 感染症対策事業	環境政策課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	—				—		
	23実績	—	167	800	967	967	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	457	280	737	737	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	—	205	280	485	485	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25計画	—	457	280	737	737	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	—	0	280	280	280	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26計画	—	456	170	626	626	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績	—	0	90	90	90	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27計画	—	456	170	626	626	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
8	継続 1号	034008 狂犬病予防事業	環境政策課 2 ソフト事業（義務）				非該当	関連無し	登録犬数に占める注射済犬の割合				%		
	23実績	88.9	1,268	4,800	6,068	-2,761	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	93	1,945	4,800	6,745	-2,064	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	70.7	1,415	4,800	6,215	-2,881	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25計画	93	3,116	4,800	7,916	-893	↑	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	68.5	2,413	3,600	6,013	-3,046	↑	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26計画	93	1,947	3,480	5,427	-3,382	→	→	→	→	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績	60.2	1,287	2,580	3,867	-4,852	→	→	→	→	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	27計画	93	8,058	2,580	10,638	-4,816	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
9	新規 1号	034009 専用水道事業	環境政策課 1 ソフト事業（任意）				非該当	関連無し	専用水道の設置時における立入検査実施件数				件		
	23実績	0	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—
	24計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	2	321	400	721	721	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	0	163	400	563	563	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	2	320	400	720	720	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
10															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		勤労者福祉の促進								58頁
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部産業政策課長	望月 広志							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり								49頁
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります								49頁
	施策	施策15：労働環境の充実（産業振興部）								56頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）なし								
4 目的		勤労者の生活が安定し、ゆとりのある暮らしをしている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	鈴鹿勤労者連絡協議会が開催する文化体育事業等への参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			3000	3000	3000	3300	3300		
	実績値	3106	2997	3500	3797	4170	-			
指標設定背景・根拠	文化体育事業等への参加者の増加は、勤労者がゆとりのある暮らしを送ることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	54,042	35,706	41,019	34,764	42,714	35,705	37,412	-
	概算人件費	5,200	6,560	6,160	6,160	5,360	5,760	5,200	-	
	②現状を維持します	合計コスト	20,196	42,266	47,179	40,924	48,074	41,465	42,612	-
	(内)一般財源	18,546	36,301	41,146	36,371	42,089	40,604	35,749	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		働く人のためのセミナーを開催し、事業内容の拡充が図られたこともあって、前年度よりも参加者が増加し目標を達成した。個別の労働組合では実施できない福利厚生の実施に繋がることから、今後もこの事業を継続して実施していく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		参加者は目標値を達成しているが、就労形態の多様化や、労働者自身の多様な価値観により、文化体育事業への取り組みやあり方を検討する必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		勤労者個人が事業に直接参加し、その成果を得るという手法では参加者が集まらず、企業が取り組む雇用の推進や福利厚生の上昇に対して支援することで、勤労者福祉の向上が図られるよう見直していく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度にお ける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量					事業費		一般 財源	作業 時間	事業の 方向性
1	継続 1号	043001 勤労者福祉支援事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	イベント参加者数			人			
	23実績	2997	35,400	1,600	37,000	37,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	3000	20,400	—	—	—	→	→	→	→	↓	改善継続	大幅減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	3500	5,400	1,200	6,600	6,600	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	25計画	3500	5,400	400	5,800	5,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	3797	5,400	400	5,800	5,800	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	26計画	3800	5,400	400	5,800	5,800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績	4170	5,400	400	5,800	5,800	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	27計画	4200	5,400	400	5,800	5,800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	27実績															
2	継続 1号	043002 労働福祉会館管理運営事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	利用者数			人			
	23実績	29900	15,646	160	15,816	11,243	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	25000	18,646	—	—	—	→	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	24実績	26480	17,129	160	17,289	12,335	→	↑	→	→	↑	→	→	→	→	
	25計画	26500	18,206	160	18,366	13,813	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
	25実績	29868	15,938	160	16,098	11,545	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	26計画	30000	16,223	160	16,383	11,284	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
	26実績	27638	16,040	160	16,200	16,200	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
27計画	28000	17,726	400	18,126	12,124	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3		
27実績																
3	継続 1号	043003 勤労青少年ホーム管理運営事業				産業政策課 3 施設管理運営事業		非該当	関連無し	施設利用者数			人			
	23実績	3251	9,915	4,000	13,915	13,859	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	2800	11,363	4,000	15,363	15,305	↓	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	⑨25年度に他の事業と統合する	5	
	24実績	3195	10,410	4,000	14,410	14,372	↓	↓	↓	↓	↓	→	→	→	→	
	25計画	3000	13,780	4,000	17,780	17,780	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	25実績	2855	10,005	4,000	14,005	14,005	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	26計画	2860	11,387	4,000	15,387	15,387	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	26実績	2583	11,620	4,000	15,620	15,620	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
27計画	2585	10,786	4,000	14,786	14,786	↓	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	⑪28年度で廃止	—		
27実績																
4	継続 1号	043004 中小企業退職金共済制度等奨励事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	新規加入者数			人			
	23実績	509	3,361	400	3,761	3,761	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	520	3,120	400	3,520	3,520	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	24実績	482	2,384	400	2,784	2,784	↑	↑	↑	↑	→	→	→	→	→	
	25計画	480	3,120	400	3,520	3,520	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	25実績	489	2,914	400	3,314	3,314	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	26計画	490	3,186	400	3,586	3,586	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	26実績	400	1,870	400	2,270	2,270	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
27計画	400	3,186	400	3,586	3,586	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1		
27実績																
5	継続 1号	043005 共同倉庫運営事業				産業政策課 3 施設管理運営事業		非該当	関連有り	—			—			
	23実績	—	75	1,600	1,675	1,675	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	—	513	800	1,313	-279	→	↓	↑	↑	↓	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	24実績	—	383	800	1,183	210	→	↓	↑	↑	↓	→	→	→	→	
	25計画	—	513	1,200	1,713	233	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3	
	25実績	—	507	1,200	1,707	1,707	→	↑	↑	↑	↑	→	→	→	→	
	26計画	—	6,518	400	6,918	6,032	→	↓	↓	↓	→	現状継続	大幅減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	3	
	26実績	—	775	800	1,575	714	→	↓	↓	↓	→	→	→	→	→	
	27計画	—	314	0	314	-547	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	4	
	27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		子どもの人権の保障								67頁
コード	49									
2 作成者	職名	教育委員会事務局教育支援課長		氏名		藺田 雅司		職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり								49頁
	政策	政策7：一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします								66頁
	施策	施策18：平等で平和な社会の実現（生活安全部，教育委員会事務局）								66頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし								
4 目的	子どもが、自分らしさを表現する力と、仲間とつながる力を付けている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	子どもの居場所づくりへの子どもの参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			2050	2100	2100	2200	2,200人以上		
	実績値	1878	2275	1540	1423	1355	-			
指標設定背景・根拠	「であいひろば」の年間参加者数が増加することは、子どもたちに仲間とつながる力が、より身に付いていることを表す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	6,966	6,550	7,413	7,025	6,897	6,685	6,561	-
		概算人件費	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	-
	②現状を維持します	合計コスト	9,366	8,950	9,813	9,425	9,297	9,085	8,961	-
	(内)一般財源	9,366	8,950	9,813	9,425	9,297	9,085	8,961	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	土曜日等に障がいのある児童生徒を中心に、創作体験教室「共生交流ひろば」を31回、NPO団体等と協働した「キラキラ子ども村」を8回、高校生ボランティアの協力も得て開催し、市内16小学校区の児童等の参加を得たが、目標値の達成は厳しい状況にあり、一層の広報周知が必要と考える。また、中学校区人権フォーラムを開催し、児童生徒460人の参加の下、人権問題を考える機会を設けるとともに市内3中学校28人の生徒による子ども人権ネットワークの取組を年間18回行い、生徒会研修会でいじめ創作劇を発表する等した。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	土曜授業の実施により、土曜日に実施している「共生交流ひろば」や「キラキラ子ども村」の活動を見直す必要がある。また、三重県では人権教育の推進にあたり、人権教育カリキュラムの重要性を指摘しており、本市では平成25年度に作成した中学校区人権教育カリキュラムの見直しを行いながら、子どもの人権が保障される取組の充実を図る必要がある。子どもの人権は、社会全体の重要課題であることから、教育委員会事務局組織の見直しに伴い、これまで以上に人権問題への取組の充実が期待されている。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)	人権教育センターの活動状況を検証し、子どもの居場所づくり事業や人権教育の充実に向けた新たな方策や体制を検討するとともに近隣高等学校や関係機関及び福祉施設等との連携を進める。また、各中学校区人権教育カリキュラムに基づいた授業実践や実践交流を積極的に進め、特色ある人権教育の推進に向けた指導助言を充実させるとともに実践事例等の普及浸透を図る。さらに、教職員の人権感覚を培うための研修会等を開催し、指導者の資質向上を図る。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業類型			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位	
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	049001 子どもの居場所づくり事業				教育支援課	非該当	関連無し	子どもの総参加者数			人			
	23実績	2275	366	3,600	3,966	3,966	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	2050	530	1,600	2,130	2,130	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	1540	530	1,600	2,130	2,130									
	25計画	2100	864	1,600	2,464	2,464	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	1450	853	1,600	2,453	2,453									
	26計画	2100	864	1,600	2,464	2,464	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績	1355	851	1,600	2,451	2,451									
	27計画	2200	802	1,600	2,402	2,402	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
27実績															
2	継続 1号	049002 人権教育センター事業(子どもの人権学習事業、管理運営)				教育支援課	非該当	関連無し	「人権ネットワーク」「共生交流ひろば」へのべ参加者数			258人			
	23実績	1070	6,622	24,000	30,622	30,622	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	520	6,436	800	7,236	7,236	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	387	6,020	800	6,820	6,820									
	25計画	200	6,549	800	7,349	7,349	→	→	→	→	→	統合	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	166	6,172	800	6,972	6,972									
	26計画	200	6,033	800	6,833	6,833	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	323	5,834	800	6,634	6,634									
	27計画	200	5,759	800	6,559	6,559	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		美しい街並みや景観の創造と保全							87頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		都市整備部都市計画課長	太田 芳雄							
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策9：地域の個性と暮らしの利便性を高めます							82頁	
	施策	施策25：景観に配慮しつつ個性を活かした計画的なまちづくり（都市整備部）							86頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■美しい街並みや景観の創造と保全（都市整備部）■快適で暮らしやすい都市環境の創造（都市整備部）								
4 目的		景観に配慮したまちづくりが進み、良好な景観が創造・保全されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	景観に影響を与える届出対象行為のうち、指導・誘導した割合						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			49	47	47	45	45		
	実績値	60	51	58	56	66	-			
	指標設定背景・根拠	指導・誘導した割合が減少することは、鈴鹿市景観計画が浸透していることを示し、良好な景観が保全・創造されることにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	7,703	7,400	7,643	7,140	6,906	6,513	6,995	-
		概算人件費	16,800	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	18,400	-
	①拡大します	合計コスト	24,503	23,400	23,643	23,140	22,906	22,513	25,395	-
	(内)一般財源	15,546	15,029	14,526	13,739	14,076	13,388	16,486	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		より質の高い景観を形成していくため、平成26年度から色彩基準について、推奨色への協力を求めた。これを指導・誘導としてカウントしたことにより成果指標の実績値としては、昨年度より指導誘導割合が増加した。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		景観計画の策定後、市民の景観意識の醸成に努めているところであるが、景観づくり活動を進めていく組織の結成には至っていない。しかし、街並み歩きによって、地域の景観資源を再発見していく活動が行われているところも出始めた。今後、こうした地域の活動を支援していく必要がある。一方、旧街道沿いの古民家においても空き家が発生しており、街並み保全の観点からも利活用についての方策を検討していく必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		これまで景観計画の運用上の課題について整理するとともに解決の方向性を整理してきたが、これにより、景観計画の変更、条例改正等が必要となった。今後、これらの手続きを進めていくこととなる。また、景観保全上、空き家対策についても検討していく必要がある。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位			
		投入コスト[単位:千円]				事業類型			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）							
		様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性		
1	継続 1号	062001 都市景観に関する事務				都市計画課	1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	景観計画に基づく届出に 対する指導率			%			
	23実績	54	369	4,800	5,169	5,169	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	49	889	4,800	5,689	5,689	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	24実績	58	362	4,400	4,762	4,762										
	25計画	47	689	4,800	5,489	5,489	↑	↑	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25実績	56	460	4,800	5,260	5,260										
	26計画	47	918	4,800	5,718	5,718	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	26実績	66	627	12,800	13,427	13,427										
	27計画	47	918	12,800	13,718	13,718	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
27実績																
2	継続 1号	062002 屋外広告物に関する事務				都市計画課	1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	未申請の広告物の件数			件			
	23実績	41	5,706	11,200	16,906	3,818	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	180	5,814	11,200	17,014	8,057	→	↓	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	200	5,787	11,200	16,987	8,616										
	25計画	180	6,954	11,200	18,154	9,037	↑	—	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	200	6,680	11,200	17,880	8,479										
	26計画	180	5,988	11,200	17,188	8,358	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績	200	5,886	3,200	9,086	-39										
	27計画	180	6,077	3,200	9,277	368	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
27実績																
3	継続 2号	062003 景観施設整備事業				都市計画課	6 ハード事業等	非該当	関連無し	—			—			
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—	
	24計画	—	1,000	800	1,800	1,800	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	—	—	
	24実績	—	1,251	400	1,651	1,651										
	25計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
4	継続 1号	062004 空家等対策（空家等対策計画策定）事業				都市計画課	1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	—			—			
	23実績	—	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—	
	24計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	⑧成果、貢献度 の見極めのため 休止する	3
	26実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27計画	—	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	→	→	完了	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
27実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		64 地元農水産物の消費拡大の推進							90頁	
2 作成者	職名	産業振興部農林水産課長		氏名		久保田 博		職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策10：地域経済を支える豊かな産業を活かします							89頁	
	施策	施策26：蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上（産業振興部）							89頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■中小企業の高度化・付加価値化の推進（産業振興部）■地元農水産物の消費拡大の推進（産業振興部）								
4 目的		地元農水産物が、地元で消費されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	農協及び漁協の農水産物直売施設の販売額						単位	千円	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			510000	520000	520000	511985	511985		
	実績値	465441	509132	519181	553021	551989	-			
指標設定背景・根拠	農協及び漁協の農水産物直売施設の販売額の増加は、地産地消が進んでいることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	5,295	4,133	5,502	5,100	7,372	5,022	6,203	-
		概算人件費	20,000	20,000	20,000	19,600	19,600	19,600	19,600	-
	①拡大します	合計コスト	25,295	24,133	25,502	24,700	26,972	24,622	25,803	-
	(内)一般財源	25,295	24,133	25,502	24,700	25,972	24,525	25,803	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		地産地消意識が市民に浸透してきており、地元産農林水産物への理解にも変化が表れはじめ、JA鈴鹿や鈴鹿市漁協が開設した直売所の取扱量も増加傾向にある。特産物である植木では植木祭りの内容充実に伴い来場者増、お茶についても各種イベントでのお茶の振る舞いや公民館や小学校でのお茶の淹れ方講習開催により啓発活動を行ってきた。これらを消費拡大に繋げたことにより目標を達成することができた。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		継続して地産地消の推進、農業振興施策の推進をしていくことで地元産農林水産物の消費は拡大すると考える。今後は、地元産農林水産物が安定して供給できるよう生産拡大体制の検討が課題と考える。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		地元の農水産物の消費拡大を推進するには、その方向性、方策を検討することが重要と考えることから、平成27年度の優先順位を決定した。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間			事業の 方向性	予算の 方向性	
1	継続 1号	064001 地産地消推進事業				農林水産課		戦略的事业④	関連無し	農産物直売施設数（累 計）			件		
	23実績	36	510	2,400	2,910	2,910	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	38	1,050	2,400	3,450	3,450	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1
	24実績	36	0	2,400	2,400	2,400									
	25計画	38	1,050	2,400	3,450	3,450	↑	↑	→	↑	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1
	25実績	39	651	2,400	3,051	3,051									
	26計画	41	756	2,400	3,156	3,156	→	→	→	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を 維持しながらコ スト減少を図る	2
	26実績	39	251	2,400	2,651	2,651									
	27計画	41	756	2,400	3,156	3,156	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持 して成果・効果 の向上を目指す	2
27実績															
2	継続 1号	064002 特産物振興事業				農林水産課		重要事業	関連無し	花木生産面積			a		
	23実績	110	3,468	11,200	14,668	14,668	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	110	3,895	16,000	19,895	19,895	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	2
	24実績	110	3,833	16,000	19,833	19,833									
	25計画	110	4,102	16,000	20,102	20,102	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	2
	25実績	110	4,099	16,000	20,099	20,099									
	26計画	110	6,266	16,000	22,266	21,266	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	26実績	110	4,771	16,000	20,771	20,674									
	27計画	110	5,097	16,000	21,097	21,097	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
27実績															
3	継続 1号	064003 水産業振興施設支援事業				農林水産課		非該当	関連無し	イベント開催回数			回		
	23実績	3	29	800	829	829	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	4	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	24実績	1	300	800	1,100	1,100									
	25計画	4	300	800	1,100	1,100	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	25実績	1	300	400	700	700									
	26計画	2	300	400	700	700	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	26実績	1	0	400	400	400									
	27計画	2	300	400	700	700	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
27実績															
4	継続 1号	064004 ふれあい農園推進事業				農林水産課		非該当	関連無し	ふれあい農園の区画数			区画		
	23実績	314	—	800	800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	320	50	800	850	850	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	24実績	314	0	800	800	800									
	25計画	320	50	800	850	850	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	25実績	314	50	800	850	850									
	26計画	320	50	800	850	850	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	4
	26実績	314	0	800	800	800									
	27計画	320	50	800	850	850	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 70		農林水産業経営支援の促進							97頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部農林水産課長	久保田 博							
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策10：地域経済を支える豊かな産業を活かします							89頁	
	施策	施策27：持続的で安定した経営基盤づくり（産業振興部）							92頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■農水産業の担い手支援と生産基盤の整備（産業振興部）								
4 目的		農林水産業の担い手が、効率的で安定した経営を行っている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	主要農水産物生産量 （米、麦、大豆、秋冬はくさい、鶏卵、牛乳、牛肉、豚肉、コウナゴ、イワシ、アサリ、ノリ）						単位	トン	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			59000	59000	59000	59700	59700		
	実績値	59685	58894	63980	57208	67844	-			
指標設定背景・根拠	農水産物生産量の増加は、農業・漁業者の担い手が効率的で安定した経営を行っていることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	111,635	103,403	122,681	116,660	126,495	121,681	148,504	-
	概算人件費	41,120	41,120	41,920	42,640	41,440	35,440	36,240	-	
	②現状を維持します	合計コスト	152,755	144,523	164,601	159,300	167,935	157,121	184,744	-
	(内)一般財源	151,125	143,485	151,882	146,852	155,385	147,547	154,744	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		経営規模の拡大を推進し、安定した経営を行えるようにするため、担い手を中心として農地の利用集積や面的集積、近代化資金等における利子補給を推進したことにより、目標を達成することができた。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		今後も担い手の育成を推進するとともに、規模拡大、生産基盤の整備に向けた施策を継続し、効率的、合理的な経営を安定して行うことができる環境を作る必要性がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		多岐に渡る農水産物、特産物について、それぞれの生産者に対応する必要性や各々の事業内容、必要性、緊急性を勘案して、平成27年の優先順位を決定した。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位				
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源			作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	
1	継続 1号	070001 農業近代化資金利子補給事業				農林水産課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	利子補給件数			件		
	23実績	150	4,199	400	4,599	4,599	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	150	5,913	400	6,313	6,313	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	275	3,355	400	3,755	3,755	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	275	5,160	400	5,560	5,560	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	302	3,146	400	3,546	3,546	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	302	4,725	400	5,125	5,125	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	334	3,174	400	3,574	3,574	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27計画	334	4,636	400	5,036	5,036	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	27実績														
2	継続 1号	070002 農業経営基盤強化資金利子補給事業				農林水産課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	利子補給件数			件		
	23実績	27	2,139	160	2,299	1,234	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	27	3,261	160	3,421	1,791	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	27	2,085	160	2,245	1,207	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25計画	27	2,439	160	2,599	1,380	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	24	1,676	160	1,836	1,002	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26計画	24	2,100	160	2,260	1,210	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績	20	1,291	160	1,451	811	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	27計画	20	2,000	160	2,160	1,160	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	27実績														
3	継続 1号	070003 家畜伝染病予防事業				農林水産課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	家畜に法定伝染病が発生しなかった畜産農家数			戸		
	23実績	52	695	4,000	4,695	4,695	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	52	695	4,000	4,695	4,695	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	52	695	4,000	4,695	4,695	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25計画	52	695	4,000	4,695	4,695	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	52	694	4,000	4,694	4,694	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26計画	52	695	4,000	4,695	4,695	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績	50	674	4,000	4,674	4,674	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27計画	50	674	4,000	4,674	4,674	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27実績														
4	継続 1号	070004 畜産経営支援事業				農林水産課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	酪農ヘルパー利用日数 （定期的な休日の確保）			日		
	23実績	417	2,965	8,000	10,965	10,965	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	570	2,930	8,000	10,930	10,930	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	24実績	570	2,930	8,000	10,930	10,930	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25計画	570	2,930	8,000	10,930	10,930	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25実績	570	2,915	8,000	10,915	10,915	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	26計画	570	2,980	8,000	10,980	10,980	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	26実績	570	2,854	8,000	10,854	10,854	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	27計画	570	2,950	8,000	10,950	10,950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	27実績														
5	継続 1号	070005 漁業近代化資金利子補給事業				農林水産課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	総陸揚量			トン		
	23実績	7090	756	80	836	836	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	12	1,000	80	1,080	1,080	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	11	1,177	80	1,257	1,257	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	12	2,128	80	2,208	2,208	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	11	3,206	800	4,006	4,006	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26計画	11	4,851	800	5,651	5,651	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績	11	5,116	800	5,916	5,916	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27計画	11	5,106	800	5,906	5,906	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27実績														

6	継続 1号	070006 のり養殖経営安定対策事業					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	漁業者数		人	
	23実績	404	199	80	279	279	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	404	1,000	80	1,080	1,080	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	404	198	80	278	278	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	404	1,000	80	1,080	1,080	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	385	250	80	330	330	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26計画	385	300	80	380	380	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	26実績	363	240	80	320	320	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	27計画	363	300	80	380	380	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
27実績						→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
7	継続 1号	070007 水産業振興事業					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	陸揚量 (ガザミ・ヨシエビ・アサリ)		トン	
	23実績	175	234	400	634	634	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	37	240	400	640	640	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	34.3	234	400	634	634	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	35	240	400	640	640	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	25実績	50.4	234	400	634	634	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26計画	50	240	400	640	640	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	26実績	19	234	400	634	634	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	27計画	20	240	400	640	640	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
27実績						→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
8	継続 1号	070008 生産調整推進対策事業					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	水稲作付面積		ha	
	23実績	262737	96,054	49,600	145,654	145,654	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	2721	96,596	28,000	124,596	124,596	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	24実績	2537	92,729	28,000	120,729	120,729	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25計画	2698	96,589	26,000	122,589	122,589	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	2405	92,925	26,000	118,925	118,925	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26計画	2642	99,104	26,000	125,104	125,104	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26実績	2361	99,164	20,000	119,164	119,164	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	27計画	2586	103,598	20,000	123,598	123,598	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
27実績						↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
9	継続 1号	070009 経営体育成支援事業					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	経営体育成支援事業補助件数		件	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	1	1,500	800	2,300	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	2	4,014	800	4,814	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26計画	1	1,500	800	2,300	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績	1	1,334	800	2,134	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	27計画	1	9,000	800	9,800	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
27実績						→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5	
10	継続 1号	070010 経営所得安定対策直接支払推進事業					農林水産課 1 ソフト事業 (任意)			非該当	関連無し	水稲生産実施計画書配布・回収件数		件	
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	—
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	7000	10,000	2,000	12,000	2,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	6986	7,600	2,000	9,600	2,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26計画	6000	10,000	800	10,800	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	6986	7,600	800	8,400	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	27計画	5000	10,000	800	10,800	800	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
27実績						→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	

新規 1号	070011 園芸特産物生産振興対策事業					農林水産課			非該当	関連無し	施設数		箇所		
	1 ソフト事業 (任意)					成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間		事業	予算
11	23実績	0	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—
	24計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27計画	1	10,000	800	10,800	800	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	⑩28年度で廃止	11
27実績															
12	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
13	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
14	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
15	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 74		新商品の開発の促進								102頁
2 作成者	職名	産業振興部産業政策課長		氏名		望月 広志		職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
	職名			氏名				職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり								74頁
	政策	政策11：新たな活力を生み出す産業を振興します								101頁
	施策	施策28：新ビジネスの創造と産業の振興（産業振興部）								101頁
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■新商品の研究開発支援と産業集積の促進（産業振興部）								
4 目的	農業者と商工業者とが連携して新たに付加価値の付いた商品を開発し、販路を拡大している。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	新商品開発または新たに販路開拓を行った商品の数							単位	品
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			—	3	3	3	3		
	実績値	—	—	—	5	5	—			
指標設定背景・根拠	新商品の開発により需要が喚起され、販路の拡大につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	300	300	4,000	3,657	5,500	4,891	5,500	—
		概算人件費	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	—
	①拡大します	合計コスト	4,300	4,300	8,000	7,657	9,500	8,891	9,500	—
	(内)一般財源	4,300	4,300	8,000	7,657	9,500	8,891	9,500	—	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	本市の農水産品など、地域資源を活用した新商品の開発及びその販路開拓に取り組む中小事業者を支援するメイド・インSUZUKA応援事業の2年目。平成26年度は6件の応募があり、新商品開発が3件、販路開拓が2件の計5件を採択し、中小事業者の新たな事業の展開意欲を感じた。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	目標以上の成果がある一方で、もう少し事業者の事業拡大意識が向上する必要がある。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)	中小事業者の商品開発・販路開拓の意識を高める施策を並行して実施し、事業者自らが更に積極的に事業展開することに繋げ、地域の地場産業の活性化を図る。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度にお ける事業の 方向性		28年度予 算配分等 に関する 優先順位		
			事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果			活動量	事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	074001 農水産品活用商品開発支援事業				産業政策課		重要事業	関連無し	新しく開発された商品数			件			
	23実績	3	—	1,600	1,890	1,890	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業	予算
	24計画	3	300	4,000	4,300	4,300	↑	↑	↑	↑	↑	H25統合	増	⑨25年度に他の 事業と統合する	2	
	24実績	3	300	4,000	4,300	4,300										
	25計画	—	—	—	—	—	↓	↓	↓	↓	↓	—	人件費のみ	—	—	
	25実績	—	—	—	—	—										
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	26実績	—	—	—	—	—										
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	27実績	—	—	—	—	—										
2	継続 1号	074002 メイド・インSUZUKA応援				産業政策課		戦略的事业④	関連無し	新商品開発または新たに 販路開拓を行った商品数			品			
	23実績	—	—	—	358,141	—	成果			活動量	事業費	一般財源		作業時間	事業	予算
	24計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	24実績	—	—	—	—	—										
	25計画	3	4,000	4,000	8,000	8,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1	
	25実績	5	3,657	4,000	7,657	7,657										
	26計画	3	5,500	4,000	9,500	9,500	↑	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1	
	26実績	5	4,891	4,000	8,891	8,891										
	27計画	3	5,500	4,000	9,500	9,500	↑	↑	→	→	↓	改善継続	増減なし	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1	
	27実績	—	—	—	—	—										
3																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
	27実績															
4																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
	27実績															
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
	27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 80		モータースポーツの振興の促進							109頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部商業観光課長	菅沼 博喜							
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策11：新たな活力を生み出す産業を振興します							101頁	
	施策	施策29：豊かな自然と観光資源の活用（産業振興部）							107頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■観光まちづくりの推進（産業振興部）								
4 目的		市民が鈴鹿市におけるモータースポーツ振興の重要性を認識し、深い理解と関心を持っている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	モータースポーツ友の会等が開催するイベントへの参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			5712	6283	5000	5000	5000		
	実績値	4670	5193	2050	2095	2246	-			
指標設定背景・根拠		参加者数の増加は、モータースポーツへの関心、理解の高まりを示している。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	15,185	15,235	12,435	12,435	16,129	17,856	18,628	-
		概算人件費	10,400	10,400	9,600	9,600	17,600	17,600	17,600	-
	①拡大します	合計コスト	25,585	25,635	22,035	22,035	33,729	35,456	36,228	-
	(内)一般財源	25,585	25,635	22,035	22,035	33,729	35,456	36,228	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		鈴鹿モータースポーツ友の会への補助金交付によるモータースポーツの普及啓発促進に加え、新たに「初心者のためのモータースポーツおもしろ体験・講座」、「鈴鹿モータースポーツ祭」を鈴鹿市主催で開催したことにより、これまで以上に多くの市民の方にモータースポーツに触れていただく機会を提供できた。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		市が主体となってモータースポーツの普及啓発促進に取り組んだ結果、もともとモータースポーツに興味を持っている市民の方々からは一定の評価をいただいているが、今後は、モータースポーツに興味のない層への浸透が重要となってくる。 一方、本田技研工業が、マクラレーン・ホンダとしてFIGPに参戦したことは、モータースポーツ界に好影響をもたらすと考えられるため、より一層モータースポーツの普及啓発促進につなげる必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		市民へのモータースポーツの普及啓発のため様々な事業を実施してきたが、モータースポーツの振興は行政だけで行えるものではないことから、鈴鹿MS友の会をはじめとする市内のMS関係者や愛好家者と協働して、本市でしかできないようなMS振興を行って行く必要がある。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			28年度予算配分等に関する優先順位	単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度における事業の方向性				
		事業費	概算人件費	合計コスト	一般財源	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間				事業の方向性	予算の方向性
1	継続 1号	080001 モータースポーツ振興支援事業				商業観光課 1 ソフト事業（任意）		重要事業	関連無し	モータースポーツ友の会が主催するイベントへの参加者数			人		
	23実績	5193	2,433	1,600	4,033	4,033	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	5712	2,435	1,600	4,035	4,035	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	2050	2,485	1,600	4,085	4,085	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	6283	2,435	1,600	4,035	4,035	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	2095	2,435	1,600	4,035	4,035	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26計画	2305	6,129	9,600	15,729	15,729	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績	2246	5,856	9,600	15,456	15,456	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	27計画	2470	8,628	9,600	18,228	18,228	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
27実績															
2	継続 1号	080002 鈴鹿F1日本GP地域活性化協議会事業				商業観光課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	観戦客数			人		
	23実績	199000	5,000	8,000	13,000	13,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	199000	10,250	8,000	18,250	18,250	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	208000	10,250	8,000	18,250	18,250	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25計画	208000	10,000	8,000	18,000	18,000	→	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	171000	10,000	8,000	18,000	18,000	→	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26計画	171000	10,000	8,000	18,000	18,000	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	26実績	150000	12,000	8,000	20,000	20,000	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	27計画	150000	10,000	8,000	18,000	18,000	→	→	→	→	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
27実績															
3	継続 1号	080003 市制70周年記念事業（モータースポーツ振興イベント開催）				商業観光課 1 ソフト事業（任意）		非該当	関連無し	モータースポーツ振興に関するイベントへの参加者数			人		
	23実績	—	—	—	—	—	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	—
	24計画	5000	2,500	800	3,300	3,300	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	—	—
	24実績	5000	2,500	800	3,300	3,300	→	↓	↓	↓	↓	—	人件費のみ	—	—
	25計画	—	—	—	—	—	→	↓	↓	↓	↓	—	—	—	—
	25実績	—	—	—	—	—	→	↓	↓	↓	↓	—	—	—	—
	26計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27計画	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		都市浸水対策								116頁	
コード		85									
2 作成者	職名	土木部河川雨水対策課長		氏名		河村 寛		職名	氏名		
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり								110頁	
	政策	政策12：災害に強いまちづくりを推進します								110頁	
	施策	施策31：浸水・治水対策の推進（土木部，都市整備部）								113頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■河川・水路・排水機場の整備と適正な維持管理（土木部） ■都市浸水対策（都市整備部）									
4 目的		浸水被害が低減されている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	都市浸水対策達成率						単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)			
	目標値			29.7	30.2	30.6	31	31			
	実績値	28.8	29.2	29.5	29.7	30	-				
指標設定背景・根拠	都市浸水対策達成率の増加は，雨水計画区域内の浸水対策が完了したことを示しており，浸水被害の低減につながる。										
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	1,009,950	858,072	1,322,157	827,182	1,678,610	857,242	2,490,938	-	
		概算人件費	95,600	95,600	95,600	95,600	40,880	48,000	56,000	-	
	①拡大します	合計コスト	1,105,550	953,672	1,417,757	907,715	1,719,490	905,242	2,546,938	-	
	(内)一般財源	410,150	370,172	433,957	-76,085	289,890	905,242	2,546,938	-		
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>26年度の浸水対策施設の整備は，一部を繰り越しているものの，概ね予定どおり実施し，維持管理も適切に行っている。成果指標は，徐々にではあるが上昇しているが，近年の予算縮小等，厳しい状況にあり達成率はまだまだ低い状況にある。</p> <p>幾分か目標に実績が達成しておらず，次年度整備予定事業を年内に竣工させるとした場合においても，27年度末の目標達成は困難。</p>									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>大型台風及び集中豪雨の増加や市街化の進展により，道路及び家屋の浸水被害が懸念される。市民からも早急な対策を望む声が高まっている。</p>									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		<p>白子町の渚雨水ポンプ場建設においては，最優先事項とし平成28年度末供用開始を目途に推進する，またその他雨水幹線整備についても浸水被害の多い緊急性の高い幹線を中心に整備を急ぐ。総合雨水対策基本計画の策定を進め，効率的な浸水対策計画を検討する。</p>									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						28年度における事業の優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	28年度 優先順位		
1	継続 1号	085001	公共下水道（雨水施設）維持管理事務				河川雨水対策課 4 施設維持管理事業	非該当	関連無し	—			—		
	23実績	—	58,141	16,320	74,461	74,461	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	—	70,903	16,960	87,863	87,863	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	—	67,959	16,960	84,919	84,919	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25計画	—	85,758	16,960	102,718	102,718	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	—	80,449	16,960	97,409	97,409	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26計画	—	92,510	9,040	101,550	101,550	↑	↑	→	→	→	改善継続	増	—	—
	26実績	—	80,475	8,000	88,475	88,475	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
	27計画	—	127,538	8,000	135,538	135,538	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
	27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
2	継続 1号	085002	排水路維持修繕事務				河川雨水対策課 4 施設維持管理事業	非該当	関連無し	排水路関係要望件数			件		
	23実績	141	104,281	19,760	124,041	124,041	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	140	104,566	20,560	125,126	125,126	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	182	94,413	20,560	114,973	114,973	→	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	180	104,221	20,560	124,781	124,781	→	→	→	→	→	改善継続	増	—	—
	25実績	120	103,088	20,560	123,648	123,648	→	→	→	→	→	改善継続	増	—	—
	26計画	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	統合	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	統合	—	—
3	継続 1号	085003	排水路新設改良事務				下水建設課 6 ハード事業等	非該当	関連無し	排水路の整備率			***		
	23実績	0.05(1.13ha/2.383ha)	27,111	2,000	29,111	29,111	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	35,890	12,320	48,210	48,110	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	0.04(0.84ha/2.383ha)	28,106	12,320	40,426	40,426	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	—	30,000	12,320	42,320	42,320	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
	25実績	0.01(0.34ha/2.383ha)	20,153	12,320	17,406	17,406	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
	26計画	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	統合	—	—
	26実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	統合	—	—
4	継続 2号	085004	公共下水道（雨水）施設整備事業				河川雨水対策課 6 ハード事業等	戦略的事業③	関連無し	—			—		
	23実績	—	797,465	43,440	840,905	88,905	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	—	798,591	45,760	844,351	149,051	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	—	667,594	45,760	713,354	129,854	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	—	—
	25計画	—	1,102,178	45,760	1,147,938	164,138	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	—	623,492	45,760	669,252	-314,548	→	↑	↑	→	↑	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	26計画	—	1,586,100	31,840	1,617,940	188,340	→	↑	↑	→	↑	改善継続	増	—	—
	26実績	—	776,767	40,000	816,767	816,767	→	↑	↑	→	↑	改善継続	増	—	—
5	継続 1号	085005	総合雨水対策基本計画策定事業（都市浸水対策）				河川雨水対策課 1 ソフト事業（任意）	非該当	関連無し	—			—		
	23実績	—	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	—	—
	24計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	24実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26計画	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26実績	—	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27計画	—	15,000	4,000	19,000	19,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
27実績	—	—	—	—	—	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	—	—	

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 90		交通安全意識の高揚							124頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		生活安全部地域課長	山本 浩							
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁	
	政策	政策13：安全なまちをめざします							120頁	
	施策	施策34：交通安全対策の推進（生活安全部，土木部，都市整備部）							123頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■市民の安全で安心な暮らしをつくる生活道路の整備促進（土木部）■安全・安心な交通空間づくりのための交通安全施設の整備（土木部）■橋りょうの耐震整備と適正な維持管理（土木部）								
4 目的		市民が交通事故に遭わず安全・安心に生活している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	交通事故死傷者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			1500	1520	1460	1,400人	1,400人以下		
	実績値	1698	1583	1315	1237	1024	-			
指標設定背景・根拠		市内で発生した交通事故死傷者数の減少は，市民の交通安全意識の高揚が図られ，安全安心に生活していることを示している。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	36,041	36,041	35,615	44,041	38,749	38,749	47,238	-
		概算人件費	21,600	21,600	24,000	24,000	25,160	24,360	24,360	-
	②現状を維持します	合計コスト	57,641	57,641	59,615	68,041	63,909	63,109	71,598	-
	(内)一般財源	52,422	52,509	54,401	62,084	58,347	57,271	64,251	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		交通事故死傷者数については，平成24年度以降年々減少しており最終目標値以下となっている。これは，関係機関と協力のうえこれまでの取組の成果と考えられ，今年度上半期においても若干減少傾向にある。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		昨年度は人身事故数，傷者数，物損事故件数の全てが前年度比で減少したが，死者数は2名増加し11名となった。このうち5名が11月～12月の年末2ヶ月間，6名が65歳以上の高齢者であり，同様に交通弱者といわれる子どもが関係する事故も依然として多い傾向にある。車に乗る人乗らない人，すべての市民が常に交通安全意識を持つことが，交通事故を減らす一番の方法であることから，関係機関等と連携して，引き続き効果的な啓発活動に取組む必要がある。特に自転車利用者が加害者となる事案も発生しており，利用マナー向上が望まれる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		目標値の達成は可能と予測するが，交通弱者への取組み，また，自転車については加害者となる事案も発生していることから，改正された道路交通法も踏まえ，引き続き関係機関と協力のもと，四季の交通安全運動など様々な機会を通じて取組みを図っていく。また，放置自転車の発生を防ぐことが交通事故の減少につながることから，引き続き自転車駐車場の適切な管理を行い，交通安全対策しっかりと取り組んでいく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度における事業の方向性		28年度予算配分等に関する優先順位		
			成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源			成果	活動量				事業費	一般 財源
1	継続 1号	090001	交通安全対策事業				地域課		非該当	関連無し	交通安全教室参加者数			人		
	23実績	26174	10,518	16,000	26,518	26,518	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	26174	6,600	8,000	14,600	14,600	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
	24実績	22988	6,600	8,000	14,600	14,600	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25計画	22988	5,889	8,000	13,889	13,889	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	20316	5,889	8,000	13,889	13,889	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	26計画	20316	5,862	6,760	12,622	12,622	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	26実績	20725	5,862	6,760	12,622	12,622	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	27計画	20725	5,623	6,760	12,383	12,383	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	27実績															
2	継続 1号	090002	自転車駐車場管理事業				地域課		非該当	関連無し	自転車駐車場収容台数			台		
	23実績	5805	17,172	6,400	23,572	23,572	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	5805	17,783	8,000	25,783	20,871	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
	24実績	5805	17,783	8,000	25,783	20,835	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
	25計画	5805	17,874	9,600	27,474	22,483	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	25実績	5805	26,350	9,600	35,950	30,579	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	26計画	5805	20,835	12,000	32,835	27,459	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	26実績	5986	20,835	11,200	32,035	26,670	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	27計画	5986	30,092	11,200	41,292	34,130	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	27実績															
3	継続 1号	090003	放置自転車対策事業				地域課		非該当	関連無し	放置自転車撤去数			台		
	23実績	947	11,450	3,200	14,650	14,650	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		事業	予算
	24計画	947	11,658	5,600	17,258	16,951	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	24実績	1091	11,658	5,600	17,258	17,074	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25計画	1091	11,852	6,400	18,252	18,029	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
	25実績	1496	11,802	6,400	18,202	17,616	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
	26計画	1496	12,052	6,400	18,452	18,266	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	26実績	1256	12,052	6,400	18,452	17,979	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	27計画	1256	11,523	6,400	17,923	17,738	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	27実績															
4																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	27実績															
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		市道の維持管理								127頁	
コード		93									
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名				
	土木部道路保全課長		川村 茂樹		土木部土木総務課長		松岡 正朋				
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり								110頁	
	政策	政策13：安全なまちをめざします								120頁	
	施策	施策34：交通安全対策の推進（生活安全部，土木部，都市整備部）								123頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■市民の安全で安心な暮らしをつくる生活道路の整備促進（土木部）■安全・安心な交通空間づくりのための交通安全施設の整備（土木部）■橋りょうの耐震整備と適正な維持管理（土木部）									
4 目的		市道が利用者にとって安全で安心して通行できるように適切に維持管理されている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	舗装の陥没等に起因する事故件数						単位	件		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）			
	目標値			4	3	2	0	0			
	実績値	8	5	4	3	2	-				
指標設定背景・根拠	舗装の陥没等に起因する事故件数の抑止は、市道の維持管理が図られたことを示している。（※過去3年間（平成17～19年度）の平均値）										
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	466,848	490,335	554,515	556,237	580,436	565,415	594,522	—	
		概算人件費	235,200	235,200	231,200	230,400	223,140	223,140	223,140	—	
	①拡大します	合計コスト	702,048	725,535	785,715	786,637	803,576	788,555	817,662	—	
	(内)一般財源	699,298	722,290	739,528	657,043	767,806	754,598	696,587	—		
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	定期的に道路舗装等維持修繕事業を実施しており、舗装の陥没等に起因する事故件数は、概ね減収傾向にあり、平成26年度は、風による街路樹等の倒木が原因での事故等はなかった。道路管理瑕疵によるすべての事故を無くすることはできなかった。今後は、現状の事業を継続しながら市民が安心・安全・快適に利用できるよう、日ごろの道路パトロールの充実・強化や職員・市民及び関係団体等からの道路損傷の通報により早期復旧に努める。										
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	毎年、道路維持管理延長が増加する中で、市民に道路を安心・安全・快適に利用していただくために、道路修繕・舗装・橋梁耐震整備・橋梁長寿命化事業等を推進する必要がある。また、事故の未然防止のため道路パトロールに加え自治会・通行者・職員・警察・市内郵便局等関係団体からの道路損傷にかかる通報等の協力を得て道路状況の確認をする必要がある。										
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)	震災等の災害に備え市民の安心・安全に繋がる事業を優先する。また、自治会からの修繕・委託等の要望は、年度内対応・工事施工を原則としており地元要望に対する対応強化に努め、また、新設舗装・歩道新設整備要望については、過年度の残要望箇所が多数あるため再度自治会役員と立会い再調査を実施し優先順位等、協議調整に努める。										

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度にお ける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量			事業費				一般 財源	作業 時間
1	継続 1号	093001 道路維持管理事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	道路照明灯電気料金			円		
	23実績	19242514	19,487	8,000	27,487	27,487	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	19242514	20,270	3,200	23,470	23,470	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	5
	24実績	19725748	19,946	3,200	23,146	23,146									
	25計画	19725748	21,912	3,200	25,112	25,112	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	5
	25実績	20816294	21,044	4,800	25,844	25,844									
	26計画	20816294	22,626	4,180	26,806	26,806	→	→	↑	↑	↓	改善継続	増	③将来のコスト 縮減のため、予 算を厚くする	5
	26実績	23755575	23,982	4,180	28,162	28,162									
	27計画	23755575	23,280	4,180	27,460	27,460	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	5
	27実績														
2	継続 1号	093002 道路維持修繕事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	道路関係要望件数			件		
	23実績	981	340,408	60,000	400,408	400,408	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	889	330,187	76,000	406,187	406,187	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増減なし	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	24実績	1076	330,187	76,000	406,187	406,187									
	25計画	1000	337,613	68,800	406,413	402,226	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	3
	25実績	1009	337,599	61,600	399,199	395,012									
	26計画	1000	325,698	54,780	380,478	380,478	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	3
	26実績	1140	334,043	54,780	388,823	388,823									
27計画	1000	330,653	54,780	385,433	385,433	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	4	
27実績															
3	継続 1号	093003 道路舗装事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	道路舗装実施延長			m		
	23実績	8960	137,936	32,000	169,936	169,936	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	3655	86,711	27,200	113,911	113,911	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	24実績	6135	112,607	27,200	139,807	139,807									
	25計画	3712	114,744	26,400	141,144	121,144	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	4
	25実績	4383	139,579	22,400	161,979	58,572									
	26計画	3075	100,000	22,580	122,580	118,180	→	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	4
	26実績	5734	122,079	22,580	144,659	141,551									
27計画	0	60,000	22,580	82,580	49,230	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	①課題解決に向 け緊急性が高い	3	
27実績															
4	継続 1号	093004 橋梁維持事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		非該当	関連無し	橋梁関係要望件数			件		
	23実績	0	7,437	800	8,237	5,788	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	12	8,000	2,400	10,400	7,650	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	4
	24実績	7	8,984	2,400	11,384	8,139									
	25計画	10	51,000	3,200	54,200	32,200	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	25実績	1	38,893	13,600	52,493	30,493									
	26計画	3	95,590	13,600	109,190	85,540	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	2
	26実績	4	52,269	13,600	65,869	42,219									
27計画	5	142,000	13,600	155,600	80,800	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	①課題解決に向 け緊急性が高い	2	
27実績															
5	継続 1号	093005 橋梁耐震整備事業				道路保全課 4 施設維持管理事業		戦略的事业①	関連無し	耐震整備対象橋梁数			橋		
	23実績	0	0	800	800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	0	0	2,400	2,400	2,400	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	24実績	0	0	2,400	2,400	2,400									
	25計画	0	10,000	5,600	15,600	15,600	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	25実績	0	3,315	4,000	7,315	7,315									
	26計画	1	18,000	4,000	22,000	14,850	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加 して成果・効果 を向上する	1
	26実績	1	17,131	4,000	21,131	13,981									
27計画	1	20,000	4,000	24,000	11,650	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	1	
27実績															

6	継続 1号	093006 道路、橋梁及び河川の台帳管理事務				土木総務課 2 ソフト事業（義務）			非該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	10,880	3,200	14,080	14,080	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	-	10,466	3,200	13,666	13,666	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	-	10,494	3,200	13,694	13,694	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	-	8,013	3,200	11,213	11,213	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	-	8,100	3,200	11,300	11,300	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26計画	-	8,053	3,200	11,253	11,253	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	26実績	-	8,669	3,200	11,869	11,869	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27計画	-	8,098	3,200	11,298	11,298	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	27実績														
7	継続 1号	093007 道路管理事業				土木総務課 2 ソフト事業（義務）			非該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	8,958	120,800	129,758	129,758	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	-	11,214	120,800	132,014	132,014	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	-	8,117	120,800	128,917	128,917	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25計画	-	11,233	120,800	132,033	132,033	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25実績	-	7,707	120,800	128,507	128,507	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26計画	-	10,469	120,800	131,269	130,699	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	26実績	-	7,242	120,800	128,042	127,993	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27計画	-	10,491	120,800	131,291	130,716	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	27実績														
8															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
9															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
10															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		防犯意識の高揚								131頁
コード	95									
2 作成者	職名	生活安全部地域課長		氏名		山本 浩		職名	氏名	
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり								110頁
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します								130頁
	施策	施策36：防火・防犯対策の推進（生活安全部，消防本部）								130頁
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし								
4 目的	市民が犯罪に対する不安を感じることなく安心して生活している。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	犯罪認知件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			3300	3000	2900	2800	2,800件以下		
	実績値	3382	3402	3100	3007	2812	-			
指標設定背景・根拠	犯罪認知件数が減少することは、犯罪が減少していることであり、市民が安心して生活できることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	10,146	14,145	11,514	11,904	14,725	17,279	19,781	-
	概算人件費	6,400	6,400	8,000	8,800	5,440	4,640	6,240	-	
	②現状を維持します	合計コスト	16,546	20,545	19,514	20,704	20,165	21,919	26,021	-
	(内)一般財源	16,546	20,545	17,366	20,704	20,165	21,919	26,021	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	関係機関や防犯ボランティア団体等と連携した取組みなどから、計画期間内は毎年減少を続けており目標値は達成できている。また、今年度上半期においても前年度に比して減少しており、最終目標値の達成も可能と予測する。 平成26年度の取組み状況の中で、防犯ボランティア団体の育成については進捗が見られなかった。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	鈴鹿警察署管内の犯罪認知件数は、減少しつつも平成26年度においても県内ワーストワンであった。 内訳として、自転車などの乗り物盗やスリなどの窃盗犯が全体の77%、その内、32%を自転車盗難が占めている。これを減らすことが犯罪件数の減少につながることから、防犯灯の設置促進や防犯ボランティア団体の育成など、地域住民の防犯意識の高揚にさらに取組む必要がある。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)	犯罪と街の明るさは非常に関係が深いことから、夜間の防犯対策の強化として、自治会のニーズが非常に高い防犯灯設置補助事業と市で設置管理を進める集落間通学路防犯灯事業についても優先事業とする。 次に、各地区防犯団体等の連携や広域的な防犯意識啓発の取組みを行う防犯協会への補助事業とする。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			28年度予 算配分等 に関する 優先順位	単位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度にお ける事業の 方向性				
		成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	28年度にお ける事業の 方向性	
1	継続 1号	095001 防犯団体育成事業				地域課		非該当	関連無し	犯罪認知件数			件		
					1 ソフト事業（任意）										
	23実績	3402	3,315	800	4,115	4,115	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	3402	3,336	1,600	4,936	4,936	↑	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	3100	3,336	1,600	4,936	4,936									
	25計画	3100	3,704	3,200	6,904	6,904	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	3007	3,704	3,200	6,904	6,904									
	26計画	3007	3,715	3,200	6,915	6,915	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	26実績	2812	3,688	2,400	6,088	6,088									
	27計画	2812	3,914	3,200	7,114	7,114	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
27実績															
2	継続 1号	095002 防犯灯設置補助事業				地域課		非該当	関連無し	防犯灯設置灯数(修繕を含む)			灯		
					1 ソフト事業（任意）										
	23実績	961	8,000	4,000	12,000	12,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	961	6,000	4,000	10,000	10,000	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	1250	9,999	4,000	13,999	13,999									
	25計画	1250	7,000	4,000	11,000	8,852	→	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	558	7,390	4,800	12,190	12,190									
	26計画	558	8,000	1,080	9,080	9,080	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
26実績	711	10,581	1,080	11,661	11,661										
27計画	711	10,000	900	10,900	10,900	→	→	↑	↑	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
27実績															
3	継続 1号	095003 暴力追放鈴鹿市民会議補助事業				地域課		非該当	関連無し	犯罪認知件数			件		
					1 ソフト事業（任意）										
	23実績	3402	810	800	1,610	1,610	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	3402	810	800	1,610	1,610	↑	→	→	→	↑	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	3100	810	800	1,610	1,610									
	25計画	3100	810	800	1,610	1,610	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	3007	810	800	1,610	1,610									
	26計画	3007	810	800	1,610	1,610	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
26実績	2812	810	800	1,610	1,610										
27計画	2812	810	800	1,610	1,610	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
27実績															
4	継続 1号	095004 集落間通学路防犯灯事業				地域課		非該当	関連無し	集落間通学路防犯灯保有数			基		
					1 ソフト事業（任意）										
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	-	-	-	-	-									
	25計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25実績	-	-	-	-	-									
	26計画	80	2,200	360	2,560	2,560	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
26実績	85	2,200	360	2,560	2,560										
27計画	85	5,057	1,340	6,397	6,397	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
27実績															
5	継続 1号														
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
26実績															
27計画															
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 97		救急業務高度化の推進							134頁	
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		消防本部消防課長	落合 満弘							
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁	
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します							130頁	
	施策	施策37：救急・救命対策の推進（消防本部）							133頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■救急業務高度化推進（消防本部）								
4 目的		救急患者が早期に高度な救急措置を受けている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	救急車の平均到着時間						単位	分	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計最終目標（H27）		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度			
	目標値			6.6	6.6	6.6	6.6	6.6		
	実績値	7.8	8	8.2	7.9	8.1	-			
指標設定背景・根拠	平均到着時間が短縮されることは、救急隊が救急患者のもとへ迅速に到着していることになり、救急患者が早期に高度な救急処置を受けられることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	46,080	46,539	49,374	50,848	29,664	29,642	87,404	-
		概算人件費	242,000	242,000	266,000	266,000	284,000	284,000	319,600	-
	①拡大します	合計コスト	288,080	288,539	315,374	316,848	313,664	313,642	407,004	-
	(内)一般財源	279,480	279,899	306,683	307,173	313,664	313,642	400,427	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		毎年3名養成している救急救命士を26年度も継続して実施し、高度救急資器材であるビデオ硬性喉頭鏡を保有するすべての救急自動車へ積載を図った。救急車の平均到着時間が前年に比べ遅くなっていることは、様々な取組みに加え機関員の早い地理把握に基づく迅速出動を行っているにもかかわらず、全国的な傾向である救急需要増加に伴い管轄外からの出動が増加することが遅延の要因と考えられる。しかしながら、本市においては、ソフト面での救急車の適正利用の啓発などを行っており、平均到着時間をわずかな遅延時間に押さえられていると考えられることから、おおむね評価できる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		昨年同様に救急出動件数の増加を抑制するため救急車の適正利用の啓発を継続し、また、医療機関との連携によって収容医療機関の決定時間短縮を図る必要がある。さらに、より早い現場到着を実現するためには、適正な署所配置を検討していく必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		高度な救急技術を維持するための病院研修や訓練などの救急活動事業を1位とし、救急需要が増加するとともに救急救命士の特定行為も増えていく中で、救急救命士の救急車搭乗率を向上させるため、救急救命士等の養成事業を2位、また、その救急救命士が運用する車両である救急自動車整備事業、次に高度救急資器材等整備事業の順とした。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・ 新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						28年度にお ける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位	
年度目標・ 実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	097001	救急活動事業				消防課	非該当	関連無し	30分以内の医療機関収容率			%		
	23実績	40.7	15,293	224,000	239,293	239,293	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	70	16,800	224,000	240,800	240,800	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4
	24実績	32.3	17,365	224,000	241,365	241,365									
	25計画	70	17,787	248,000	265,787	265,787	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4
	25実績	27.4	19,320	248,000	267,320	267,320									
	26計画	70	19,729	272,000	291,729	291,729	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26実績	25.7	19,844	272,000	291,844	291,844									
	27計画	70	19,761	304,000	323,761	323,761	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	27実績														
2	継続 1号	097002	救急救命士等の養成				消防課	重要事業	関連無し	救急救命士養成率			%		
	23実績	33.3	5,627	4,000	9,627	9,627	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	18.2	5,780	6,000	11,780	11,780	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	18.2	5,755	6,000	11,755	11,755									
	25計画	45.5	8,087	6,000	14,087	14,087	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	45.5	8,059	6,000	14,059	14,059									
	26計画	72.7	8,335	6,000	14,335	14,335	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	72.7	8,210	6,000	14,210	14,210									
27計画	100	8,798	4,800	13,598	13,598	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
27実績															
3	継続 1号	097003	高度救急資機材等整備事業				消防課	重要事業	関連無し	資機材整備率			%		
	23実績	33.3	140	4,000	4,140	4,140	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	20	1,500	6,000	7,500	7,500	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	20	1,494	6,000	7,494	7,494									
	25計画	40	1,500	6,000	7,500	7,500	↑	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25実績	40	1,499	6,000	7,499	7,499									
	26計画	70	1,600	6,000	7,600	7,600	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	26実績	60	1,588	6,000	7,588	7,588									
27計画	100	648	4,800	5,448	5,448	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4	
27実績															
4	継続 1号	097004	高規格救急車整備事業				消防課	非該当	関連無し	更新車両整備率			%		
	23実績	33.3	20,687	4,000	24,687	15,858	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	25	22,000	6,000	28,000	19,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	25	21,925	6,000	27,925	19,285									
	25計画	50	22,000	6,000	28,000	19,309	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	50	21,970	6,000	27,970	18,295									
	26計画	50	0	0	0	0	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	100	58,197	6,000	64,197	57,620	→	→	↓	→	→	現状継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	3	
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 101		水道施設の整備・更新							139頁		
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名					
		水道局工務課長	小林 晋一								
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁		
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します							130頁		
	施策	施策38：上水道の安定供給（水道局）							136頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■計画的な施設整備（水道局） ■健全経営の推進（水道局） ■おいしい水の供給（水道局） ■啓発・PRの推進（水道局）									
4 目的		上水道が安全で安定的に供給されている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	管路整備率						単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)			
	目標値			14	18	22	26	26			
	実績値	7	8	9	11	14	-				
指標設定背景・根拠		老朽管の整備率が增加することは、漏水等の事故の発生率を低下させ、事故の発生が少なくなるにより安定的な上水道の供給が行える。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	2,293,483	2,483,921	1,498,365	841,314	3,039,151	725,657	3,737,831	-	
		概算人件費	89,600	90,400	84,800	84,800	46,400	68,000	81,600	-	
	①拡大します	合計コスト	2,383,083	2,574,321	1,583,165	926,114	3,085,551	793,657	3,819,431	-	
	(内)一般財源	0	0	0	0	0	0	0	-		
7 総合評価 (26年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		基幹管路である大口径管路の着手を優先したことと、平成24年度から、すべての管路に耐震管を採用したことにより、平成24～26年度の管路整備率が伸び悩んだ。また、平成24年度には長期的管路更新計画として、老朽管更新計画が策定された。この計画を基に、経営への影響に配慮をしつつ、整備率のアップを図りたい。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		第5期拡張変更事業（平成20年策定）を推進する中で、大規模施設（送水場・配水池）の更新、新設が目白押しであり、膨大な出費が見込まれる中で、導・送・配水管の老朽管についても推し進めなければならない。収益は右肩下がりであり、年度ごとの投資額のバランス、節約が必要である。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		平野送水場更新、国府第2配水池新設を再優先に実施し、国府第2配水ブロックを新設することにより、住吉道伯配水ブロックの負荷を軽減する。老朽管更新も着実に進める必要があり、肅々と進めたい。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				28年度に おける事業の 方向性				
		様式	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業 の方向性	予算の 方向性
1	継続 2号	101001	第5期拡張事業（配水施設増補強）				工務課 6 ハード事業等		非該当	関連無し	—			—
	23実績	—	133,738	13,600	147,338	57,973	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続 2
	24計画	—	436,050	9,600	445,650	0	→	→	→	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い 2
	24実績	—	190,720	9,600	200,320	0								
	25計画	—	207,900	11,200	219,100	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い 2
	25実績	—	164,988	11,200	176,188	0								
	26計画	—	412,440	8,800	421,240	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 2
	26実績	—	21,778	16,800	38,578	0								
	27計画	—	842,929	20,000	862,929	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 2
27実績														
2	継続 2号	101002	第5期拡張事業（浄水、送水施設整備）				工務課 6 ハード事業等		重要事業	関連無し	—			—
	23実績	—	149,188	7,200	156,388	78,194	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続 1
	24計画	—	1,271,373	6,400	1,277,773	0	→	→	→	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い 1
	24実績	—	1,459,161	7,200	1,466,361	0								
	25計画	—	392,822	6,400	399,222	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い 1
	25実績	—	127,060	6,400	133,460	0								
	26計画	—	1,584,080	6,400	1,590,480	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 1
	26実績	—	297,320	16,800	314,120	0								
	27計画	—	2,005,464	20,000	2,025,464	0	→	→	→	→	→	現状継続	—	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 1
27実績														
3	継続 2号	101003	第5期拡張事業（管路等整備）				工務課 6 ハード事業等		戦略的事業③	関連無し	—			—
	23実績	—	363,825	73,600	437,425	213,432	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続 3
	24計画	—	553,060	70,400	623,460	0	→	→	→	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い 3
	24実績	—	809,382	70,400	879,782	0								
	25計画	—	867,643	64,800	932,443	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い 3
	25実績	—	547,897	64,800	612,697	0								
	26計画	—	1,026,631	28,000	1,054,631	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 3
	26実績	—	390,579	31,200	421,779	0								
	27計画	—	872,438	36,800	909,238	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 3
27実績														
4	継続 2号	101004	配水施設等改良				工務課 6 ハード事業等		非該当	関連無し	—			—
	23実績	—	8,508	2,400	10,908	5,454	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続 4
	24計画	—	33,000	3,200	36,200	0	→	→	→	→	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する 4
	24実績	—	24,658	3,200	27,858	0								
	25計画	—	30,000	2,400	32,400	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する 4
	25実績	—	1,369	2,400	3,769	0								
	26計画	—	16,000	3,200	19,200	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 4
	26実績	—	15,980	3,200	19,180	0								
	27計画	—	17,000	4,800	21,800	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す 4
27実績														
5														
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	
	24計画													
	24実績													
	25計画													
	25実績													
	26計画													
	26実績													
	27計画													
27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード 116		総合的・計画的行政の推進							159頁	
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		企画財務部企画課長		鈴木 謙治		総務部総務課長		渥美 和生		
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします							151頁	
	施策	施策43：効果的・効率的な行政経営（企画財務部，総務部）							157頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■総合的・計画的行政の推進（企画財務部） ■計画的・効率的な財政運営（企画財務部） ■行財政改革推進（総務部）								
4 目的		受託責任と説明責任を果たしながら，計画的な行政経営が行われている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	単位施策評価の目標値に対する実績値						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標（H27）		
	目標値			60	65	70	80	80		
	実績値	51.2	39.4	45.2	48	47.1	-			
指標設定背景・根拠	単位施策評価の目的が達成されることは，計画的に行政が運営されていることにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	8,653	7,937	16,711	11,550	46,637	31,904	97,847	-
		概算人件費	43,360	42,560	48,160	48,160	73,360	73,360	72,160	-
	①拡大します	合計コスト	52,013	50,497	64,871	59,710	119,997	105,264	170,007	-
	(内)一般財源	44,978	44,103	50,937	49,843	92,342	86,565	85,850	-	
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>単位施策評価の目標値に対する実績値は，目標値から大きく乖離しており，第3期行財政経営計画の最終目標値を達成するためには各所属が意識を持って取り組む必要がある。</p> <p>不安定な経済状況など社会経済情勢の変動の影響を受け，税収の見込みが不透明なことから，コストを重点的に配分する影響も考えられる。</p> <p>平成28年度に開始される総合計画2023では，総合計画，予算編成，行財政改革，行政評価の連携を強化し，計画的な行政を着実に推進するよう努める必要がある。</p>								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>目標値に対する実績値を向上させるため，成果につながる課題解決に必要な行政コストの配分のほか，市民ニーズ等行政需要の変化に対応していけるよう事務事業の優先度判断を進める必要がある。</p>								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		<p>総合計画2023の推進に合わせ，適宜，政策，施策の改善につなげていけるよう，政策課題に対する調査研究に重点的にコストをかける。</p> <p>また，トータルマネジメントシステムを構築させ，限られた資源の効果的な配分とともに，効率的な行政経営を進める。</p>								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			28年度に おける事業の 方向性	28年度予 算配分等 に関する 優先順位	
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）								
			成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源			成果	活動量	事業費			一般 財源
1	継続 1号	116001	総合計画策定及び進行管理事務				企画課		非該当	関連無し	—			—	—
	23実績	—	825	7,600	8,425	8,425	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		
	24計画	—	0	3,600	3,600	3,600	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	—	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	—	370	6,400	6,770	6,770	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	2
	25実績	—	201	6,400	6,601	6,601	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26計画	—	4,533	13,200	17,733	17,733	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26実績	—	4,223	13,200	17,423	17,423	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	27計画	—	7,910	13,200	21,110	21,110	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	4
27実績															
2	継続 1号	116002	庁内調整会議				企画課		非該当	関連無し	—			—	—
	23実績	—	0	3,600	3,600	3,600	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		
	24計画	—	0	4,400	4,400	4,400	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	—	0	2,800	2,800	2,800	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	—	0	2,800	2,800	2,800	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	—	0	2,800	2,800	2,800	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	26計画	—	0	2,400	2,400	2,400	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	26実績	—	0	2,400	2,400	2,400	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	27計画	—	0	2,400	2,400	2,400	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
27実績															
3	継続 1号	116003	政策課題調査研究事業				企画課		非該当	関連有り	—			—	—
	23実績	—	227	2,160	2,387	2,387	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		
	24計画	—	1,000	6,000	7,000	7,000	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	—	933	6,400	7,333	7,333	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	—	2,000	9,600	11,600	11,600	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	—	1,084	9,600	10,684	10,684	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	26計画	—	1,829	10,800	12,629	12,629	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	26実績	—	601	10,800	11,401	11,401	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	27計画	—	1,824	7,200	9,024	9,024	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
27実績															
4	継続 1号	116004	行政評価システム推進事業				総務課		非該当	関連無し	—			行政評価の活用度	%
	23実績	65	190	13,360	13,550	13,550	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		
	24計画	70	191	13,360	13,551	13,551	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	62	187	13,360	13,547	13,547	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25計画	72.5	191	13,360	13,551	13,551	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	78	182	13,360	13,542	13,542	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	26計画	80	196	13,360	13,556	13,556	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	26実績	64.7	0	13,360	13,360	13,360	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	27計画	80	0	13,360	13,360	13,360	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	⑨28年度に他の事業と統合する	7
27実績															
5	継続 1号	116005	各種統計調査事業				企画課		非該当	関連無し	—			統計調査調査票取集割合	%
	23実績	92.3	6,977	16,000	22,977	16,292	成果	活動量			事業費	一般財源	作業時間		
	24計画	85	7,462	16,000	23,462	16,427	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	24実績	94.5	6,817	16,000	22,817	16,423	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25計画	90	14,150	16,000	30,150	16,216	↑	→	→	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	86.9	10,083	16,000	26,083	16,216	↑	→	→	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	26計画	90	21,904	24,000	45,904	24,249	↑	→	→	→	→	改善継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4
	26実績	87.6	18,832	24,000	42,832	24,133	↑	→	→	→	→	改善継続	大幅増	②コストを増加して成果・効果を向上する	4
	27計画	90	78,377	24,000	102,377	24,220	→	↓	↓	→	↓	改善継続	大幅減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	5
27実績															

	継続 1号	116006 公共施設マネジメント推進事業					企画課			非該当	関連有り	-		-	
							5 内部管理事務								
6	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-
		24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26計画	-	11,675	7,200	18,875	18,875	-	-	-	-	-	-	-	①課題解決に向け 緊急性が高い	2
	26実績	-	8,248	7,200	15,448	15,448	-	-	-	-	-	-	-		
	27計画	-	3,236	7,200	10,436	10,436	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持 して成果・効果 を維持する	3
	27実績														
	新規 1号	116007 人口ビジョン・総合戦略策定					企画課			非該当	関連無し	-		-	
							5 内部管理事務								
7	23実績	-	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-
		24計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25実績	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26計画	-	6,500	2,400	8,900	2,900	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26実績	-	0	2,400	2,400	2,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27計画	-	6,500	4,800	11,300	5,300	↓	↓	↓	↓	↓	現状継続	大幅減	⑥成果・効果を 維持しながらコ スト減少を図る	6
	27実績														
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		民間活力の導入								160頁	
コード		117									
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名				
	総務部総務課長		渥美 和生		企画財務部企画課長		鈴木 謙治				
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために								145頁	
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします								151頁	
	施策	施策43：効果的・効率的な行政経営（企画財務部，総務部）								157頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■総合的・計画的行政の推進（企画財務部）■計画的・効率的な財政運営（企画財務部）■行財政改革推進（総務部）									
4 目的		効率的で効果的な行政経営を行い，経費削減を図るとともに，より質の高い市民サービスが提供されている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	指定管理者制度導入施設における満足度評価で，施設利用者が「満足」と評価した割合						単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)			
	目標値			96	98	99	100	100			
	実績値	94	93	91	91	97	-				
指標設定背景・根拠	指定管理者制度導入施設における満足度評価が高まることは，適切なサービス提供主体によって，公の施設が運営され，民間活力が適切に導入されていることにつながる。										
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	61	45	486	359	261	111	678	-	
		概算人件費	5,680	8,000	8,000	8,000	8,800	8,800	8,800	-	
	②現状を維持します	合計コスト	5,741	8,045	8,486	8,359	9,061	8,911	9,478	-	
	(内)一般財源	5,741	8,045	8,486	8,359	9,061	8,911	9,478	-		
7 総合評価 (26年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		<p>昨年，アンケート調査総数の確保を図るため，施設利用者の半数以上の意向調査となるよう施設担当課を通して指定管理者に改善を求めたところである。</p> <p>しかしながら，総数は前年度1209件に対して本年度1014件となっており，施設利用者に対するアンケート調査への協力を得難い状況が浮き彫りとなった。一方，数値の信頼性の面で課題はあるが，「満足」と評価された割合は97%（前年度91%）に上昇しており，行政サービスの質の向上につながっている。</p>									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		<p>少子高齢化及び人口減少社会の進展により，市税等の財源確保が難しくなる状況においても，行政需要は増大し，多様化が進むことが想定される。そのため，行政サービスの質の向上とともに経費の削減につなげていけるよう行政サービスの担い手の最適化を図る必要がある。</p>									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の28年度における優先順位の考え方)		<p>行政サービスの質の向上と行政運営の効率化を図るには，民間事業者等の優れた技術・知識・経験・資金等の活用や民間活力の導入による業務効率化とともに利用者満足度の向上を図ることが必要である。</p> <p>行政サービスの担い手最適化指針に基づき，指定管理者制度やPFIのほか，地域のまちづくりを担う組織との適切な役割分担も含め，民間活力を導入することで，事業遂行の迅速性・柔軟性も確保できるよう検討していく。</p>									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名	実施計画	行革関連	成果指標 指標名			単位			
						事業類型									
		様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					28年度における事業の方向性	28年度予算配分等に関する優先順位		
年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	117001	PFI推進等民間活力導入調査研究				企画課 5 内部管理事務		非該当	関連無し	—			—	
	23実績	—	0	640	640	640	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	—	0	640	640	640	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	—	0	800	800	800									
	25計画	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	—	0	800	800	800									
	26計画	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	—	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	26実績	—	0	800	800	800									
	27計画	—	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
27実績															
2	継続 1号	117002	指定管理者制度推進事業				総務課 5 内部管理事務		非該当	関連有り	指定管理者制度導入施設数			施設	
	23実績	40	296	6,320	6,616	6,616	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	39	61	5,040	5,101	5,101	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	39	45	7,200	7,245	7,245									
	25計画	40	486	7,200	7,686	7,686	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	40	359	7,200	7,559	7,559									
	26計画	42	261	8,000	8,261	8,261	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	26実績	41	111	8,000	8,111	8,111									
	27計画	42	678	8,000	8,678	8,678	↑	↓	↓	↓	↓	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	1
27実績															
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

